

島根県浜田市遺跡地図 I (浜田自治区) 仕切遺跡

平成 19 年度 市内遺跡発掘調査報告書



2009年3月

島根県 浜田市教育委員会

序

浜田市教育委員会では市内の遺跡を確認するため、平成11年度から国庫補助事業を受けて市内遺跡の発掘調査を実施しています。平成18年度からは市町村合併に伴い、旧那賀郡（金城町・旭町・弥栄村・三隅町）も含めた新浜田市を対象として事業を実施しています。

本書は浜田自治区の遺跡位置を示した地図をまとめており、文化財保護のための基礎資料です。学校教育や生涯学習、開発事業との調整など広く活用され、文化財保護思想の普及、地域史研究への一助となることを願っております。

おわりに、本書を刊行するにあたりご協力をいただきました地元の皆様、島根県教育委員会をはじめとした関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成 21年 3月

浜田市教育委員会

教育長 山田 洋夫

例 言

1. 本書は浜田市教育委員会が平成19年度に国庫補助を受けて実施した市内遺跡発掘調査事業の報告書である。事業は遺跡分布調査と台帳整理、確認調査と関連遺物の整理作業を実施した。

2. 調査は以下の組織で行った。

調査主体 浜田市教育委員会教育長 山田洋夫

調査指導 島根県教育委員会 文化財課・阿部志朗（浜田水産高校教諭・元島根県歴史の道調査委員）

担当者 柳原博英（浜田市教育委員会 文化振興課 文化財係 主任主事）

事務局 浜田市教育委員会 文化振興課 文化財係

文化振興課長 山根 稔・文化財係長 原 裕司・主任主事 龍山恵子・主事 宮脇 型

3. 調査にあたり協力および従事していただいた方々は次のとおりである。

調査協力 株式会社 協和、島根県埋蔵文化財調査センター

調査参加 岩本秀雄、佐々木五郎、佐々木定実、坪倉ひとみ、中田洋子

中田貴子、原田勝義、半場利定、平野夕子、吉賀久雄、吉田安男

4. 出土遺物、実測図及び写真、台帳類の記録は浜田市教育委員会に保管している。

5. 本書の執筆編集は柳原が行った。

本 文 目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 第1章 経緯と経過 | 2 |
| 第2章 浜田自治区遺跡地図 | 2 |
| (遺跡分布図、遺跡一覧、指定文化財一覧、参考文献) | |
| 第3章 埋蔵文化財の事務手続きフロー | 77 |
| 第4章 仕切遺跡の確認調査 | 80 |
| 第1節 調査の概要 | 80 |
| 第2節 総括 | 85 |

第1章 経緯と経過

浜田市教育委員会では国庫補助事業を受けて市内遺跡の試掘確認調査を平成11年度より実施している。これまで平成13年度に国府地区、平成17年度に石見国分寺跡・同尼寺跡、平成18年度に周布地区、平成19年度に周布古墳・蔵地宅後古墳・金田1号墳の調査報告書を刊行した。

平成14年度よりこれまでの国府地区（石見国分寺跡など）の調査に加え、周布地区の試掘確認調査（周布古墳など）を実施していたが、平成17年（2005年）10月1日の市町村合併により、那賀郡（金城町・旭町・弥栄村・三隅町）を含めた新浜田市の範囲を対象とする事業となった。

本報告書に収録した調査内容は、平成19年度に実施した仕切遺跡確認調査と市内分布調査・台帳整理である。

第2章 浜田自治区遺跡地図

島根県教育委員会2002『島根県遺跡地図Ⅱ（石見編）』に基づき、L1から一連番号を付した。指定文化財には別番号（史跡：国史・県史・市史・天然記念物：国天・県天・市天・登録文化財：国登）を付した。このため、埋蔵文化財と史跡の番号は二重になっており、史跡指定範囲（一点鎖線）と埋蔵文化財の範囲は異なっている。

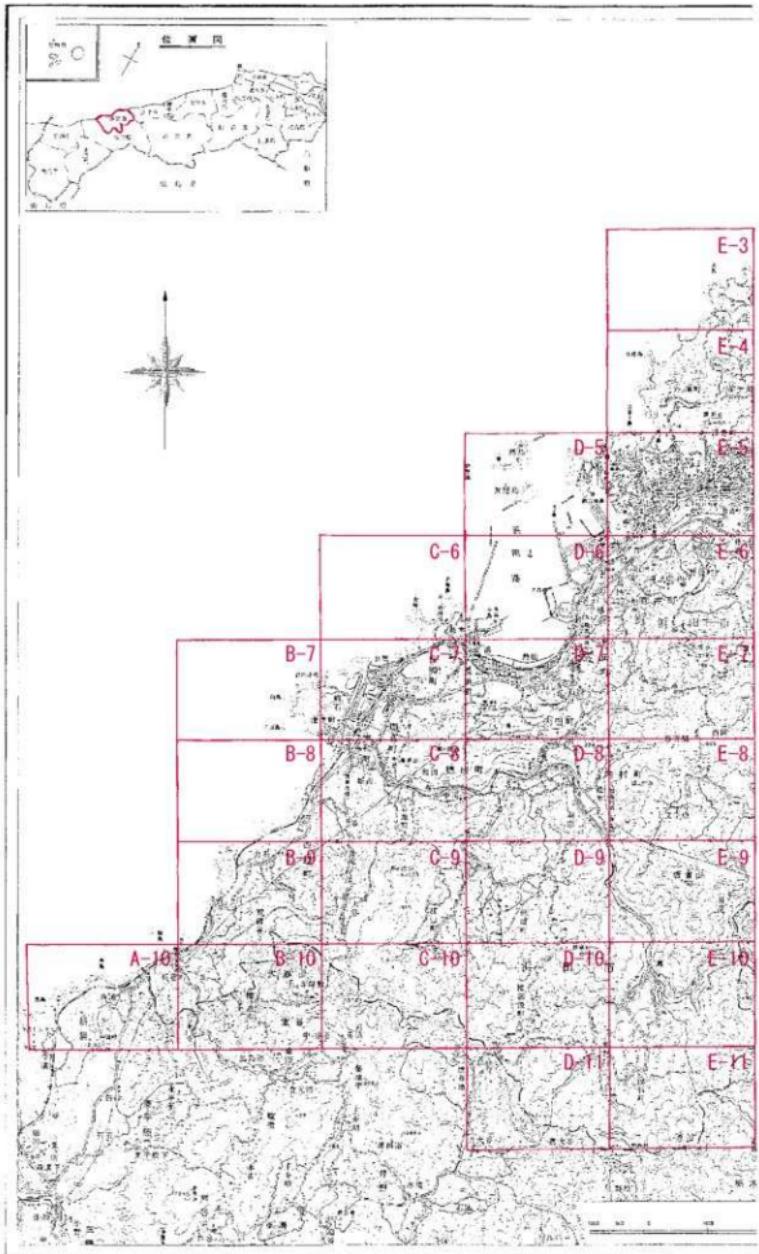
遺跡は種別によって下記のとおり分け、赤色の記号であらわした。種類が複数になるものは主なもので代表させている。遺跡の範囲が明確なものは塗りつぶし、不明確なものは白抜きで示した。

街道跡は島根県歴史の道調査報告書とその後の調査委員の補足を反映したものである。およそ江戸時代後期から近代にかけてのものである。

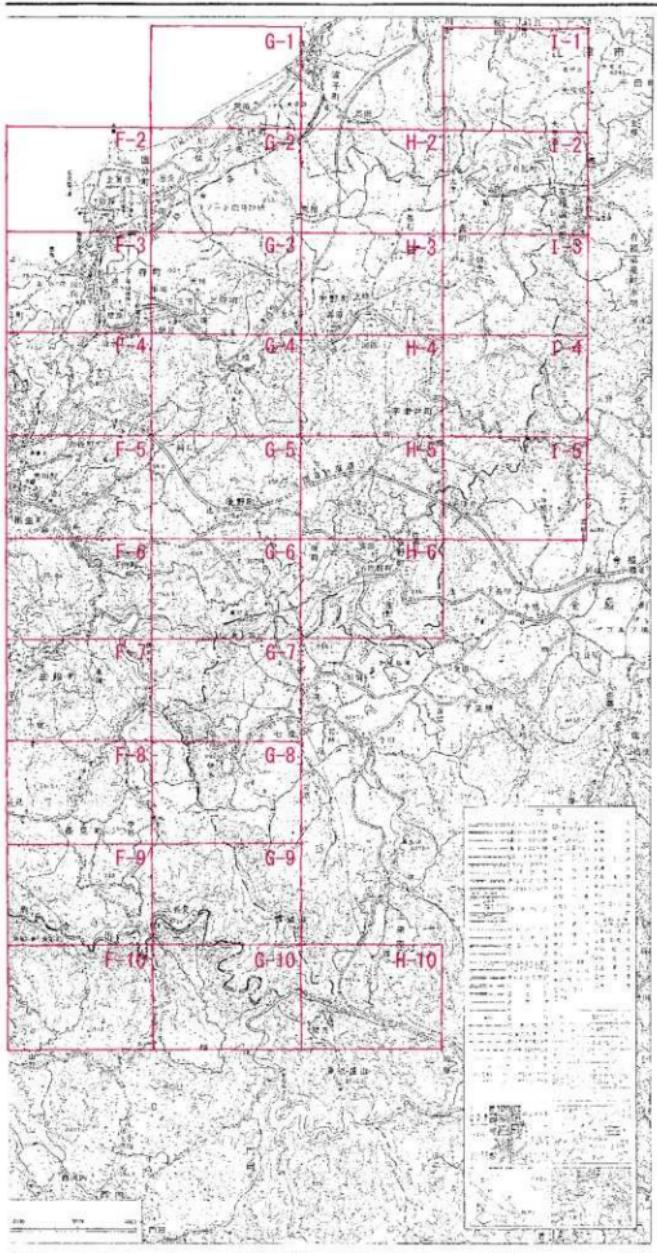
| | |
|----------------------|-------------------|
| ● 遺跡 | ○ 遺跡（不明確） |
| - 遺跡範囲 | ‥ 遺跡範囲（不明確） |
| ▲ 古墳・墳墓 | △ 古墳・墳墓（不明確） |
| ■ 古墓・石碑など石造物 | ▲ 古墓・石碑など石造物（不明確） |
| ▲ 窟業関係遺跡 | △ 窟業関係遺跡（不明確） |
| ▼ 製鉄関係遺跡 | ▽ 製鉄関係遺跡（不明確） |
| 記 寺院跡 | ● その他の遺跡 |
| ■ 調査実施地点・遺跡確認 | □ 調査実施地点・遺跡なし |
| ----- 指定範囲（史跡・登録文化財） | |
| ㊀ 天然記念物（樹木） | ★ 天然記念物（樹木以外） |

地図上に示した遺跡は、現段階で確認できたものを掲載しています。図示されていない地点にも遺跡が存在する可能性があるため、現地確認などの予備調査（分布調査・試掘調査など）が必要になります。開発行為を計画する場合は浜田市教育委員会に照会していただきたい。

掲載した地図（1/8,000・1/15,000）は、浜田市で保管している1/50,000（平成11年）・1/10,000（平成12年測図）・1/2,500（平成6年12月測図）を使用している。平成17年の市町村合併以前のものである。



史跡・埋蔵文化財包蔵地地図配分図（平成 11 年作成・市町村合併以前）



史跡・埋蔵文化財分布地図 (平成 11 年作成・市町村合併以前)

B-7



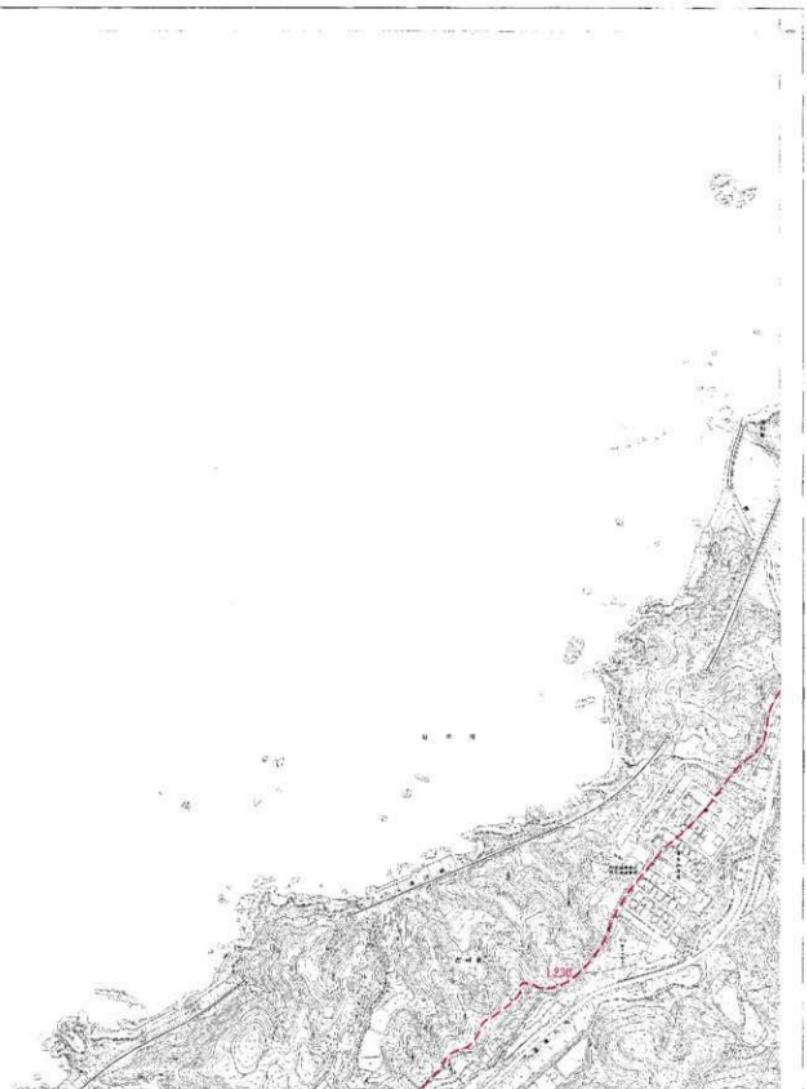
C-7

B-8

L205 羽根尾塗跡

B-7

B-8



B-9



L230 山陰道

B-9

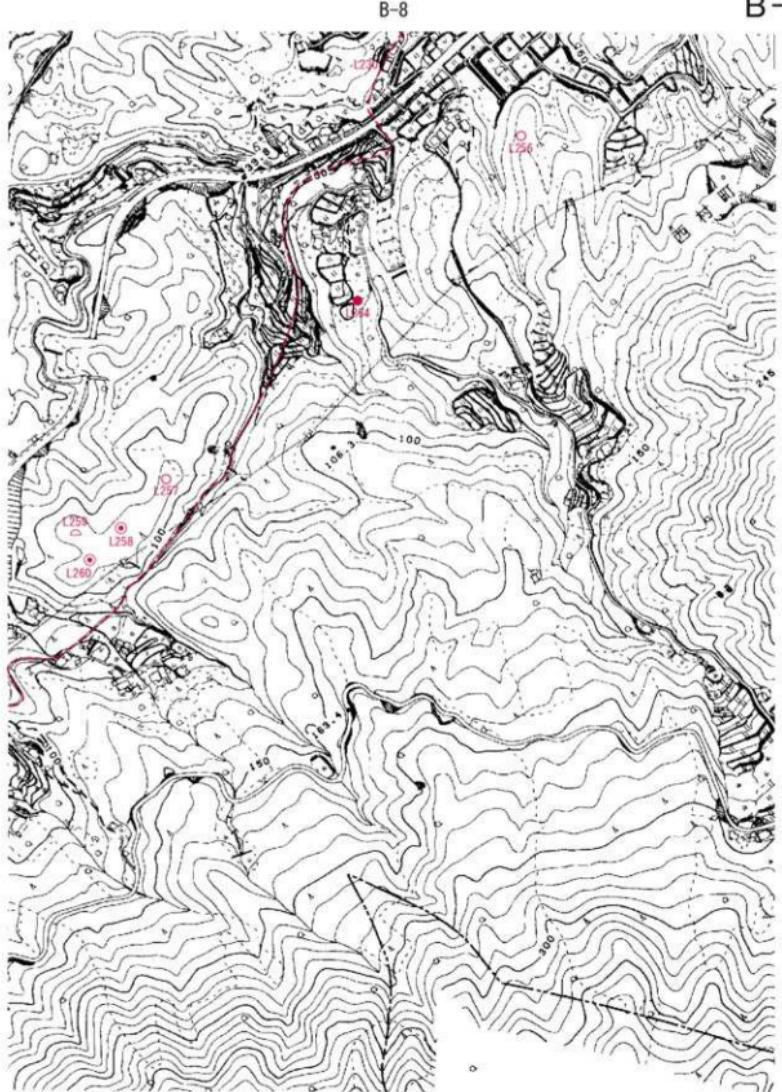
B-8



B-10



L97 西村鉄跡 L230 山陰道



B-10



L230 山陰道 L256 寺ヶ峰遺跡 L257 提ヶ峰遺跡 L258 新井 I 遺跡 L259 新井 II 遺跡 L260 平岩遺跡
L264 力石遺跡

B-10

B-9

A-10



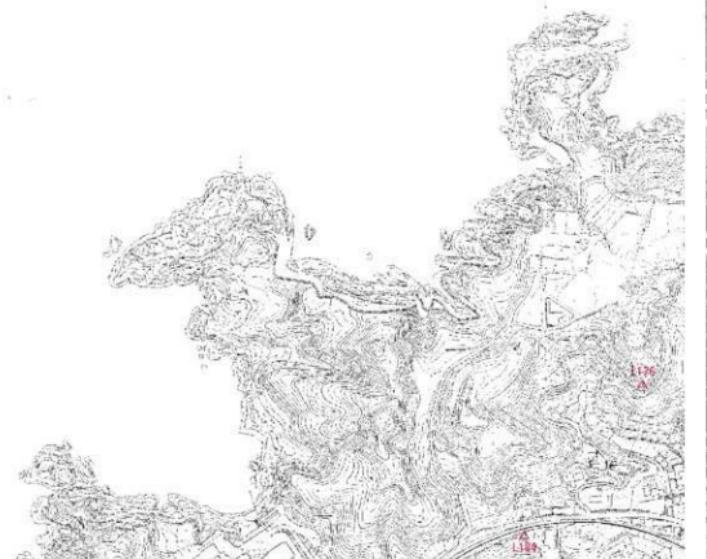
0 500m

L201 原経塚 L218 折居城跡 L230 山陰道 L261 城ヶ浴遺跡 L262 カモト遺跡

C-6



D-6



C-7

0 500m

L176 ほうとう寺塗跡 L184 大田塗跡

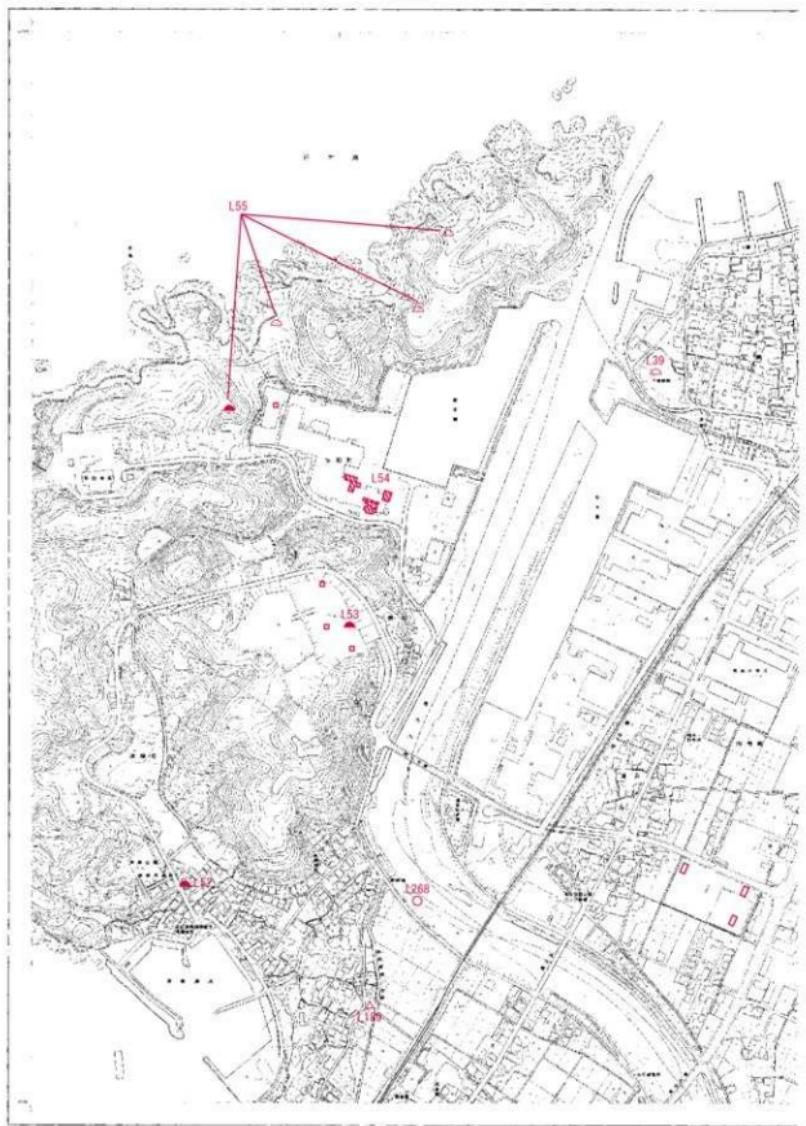
C-7

C-6

B-7

C-8

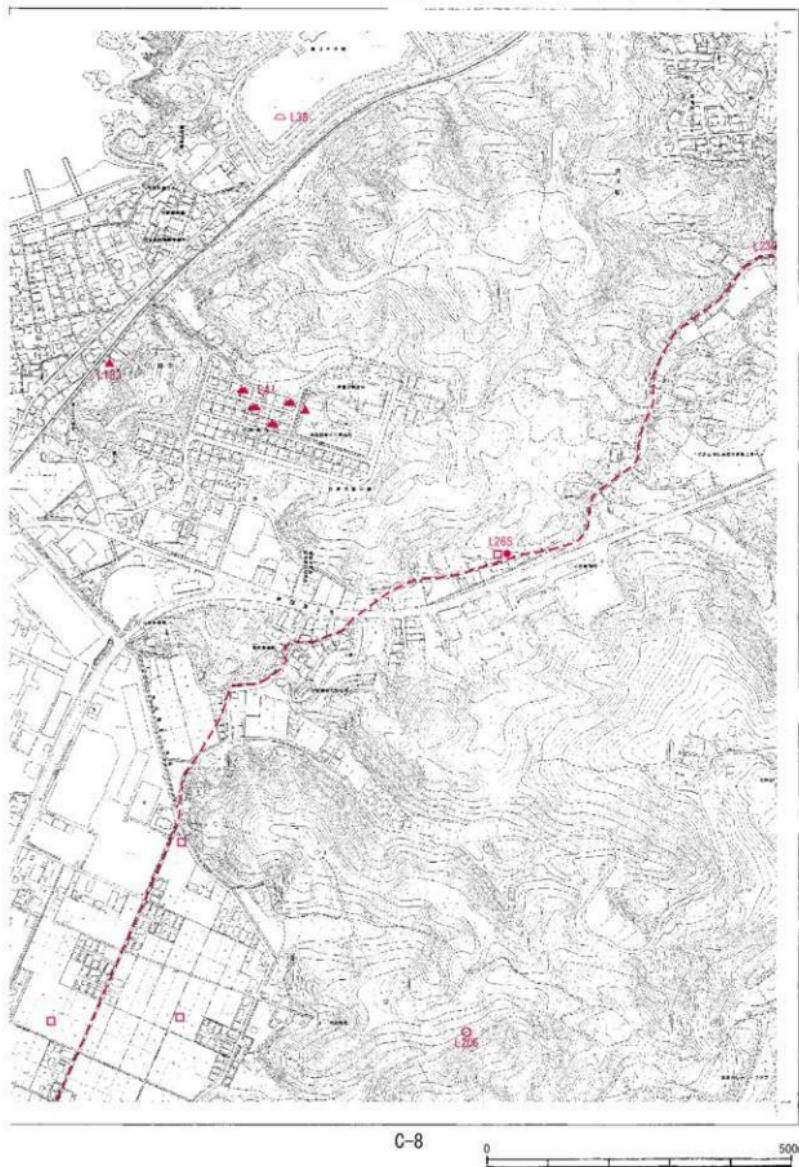
0 500m



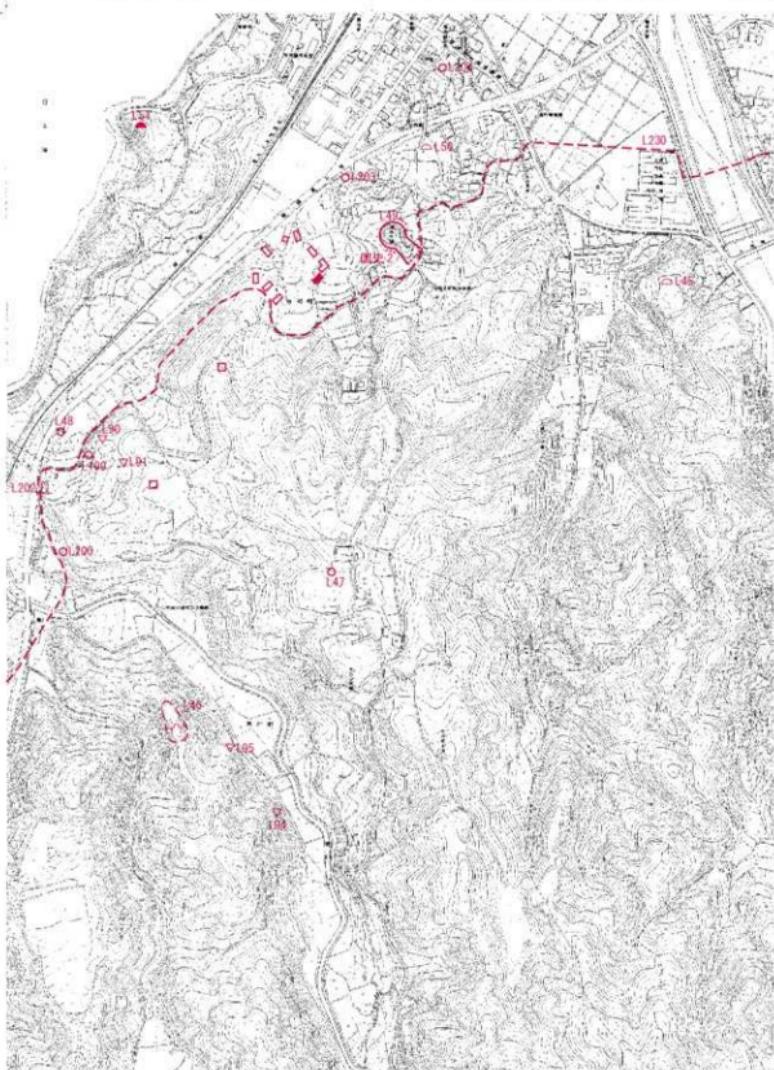
L39 日脚下浦遺跡 L52 蔽地宅後古墳 L53 森ヶ曾根古墳 L54 鶴石遺跡

L55 鶴石古墳群 (-1 鶴石1号墳 -2 鶴石2号墳 -3 鶴石3号墳 -4 鶴石4号墳)

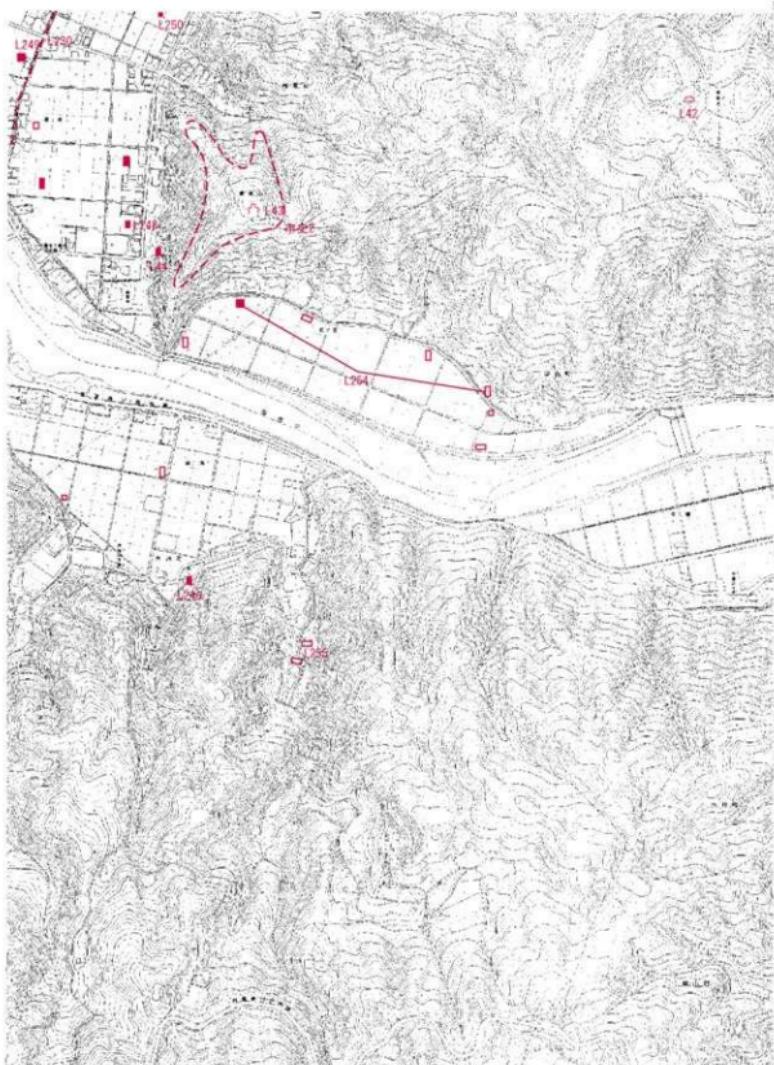
L189 大田原跡 L268 周布川河原遺跡



L38 鈴居古墳 L41 日脚遺跡 L183 柿谷窯跡 L206 高野山下遺跡 L230 山陰道
L265 日脚東遺跡

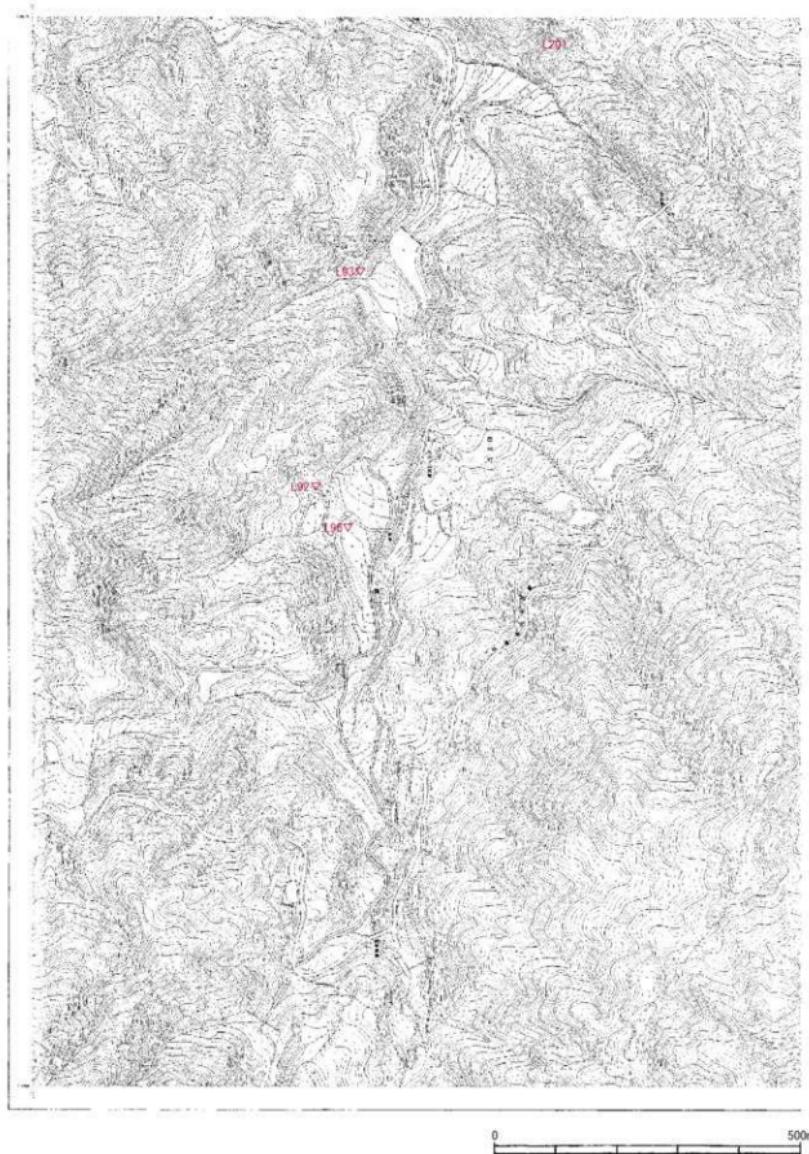


- L45 沢田寺古墳 L46 青ノ城跡 L47 坂辻遺跡 L48 木引地遺跡 L49 周布古墳（国史2）
 L50 めんぐろ古墳 L51 小西ヶ丘古墳 L90 青野鍛冶屋跡 L91 青野鉄跡 L94 大谷鍛冶屋跡No3
 L95 大谷鍛冶屋跡No4 L199 坂辻西遺跡 L200 青口遺跡 L202 青口古墓 L203 三宅辻遺跡
 L204 洋田遺跡 L230 山陰道

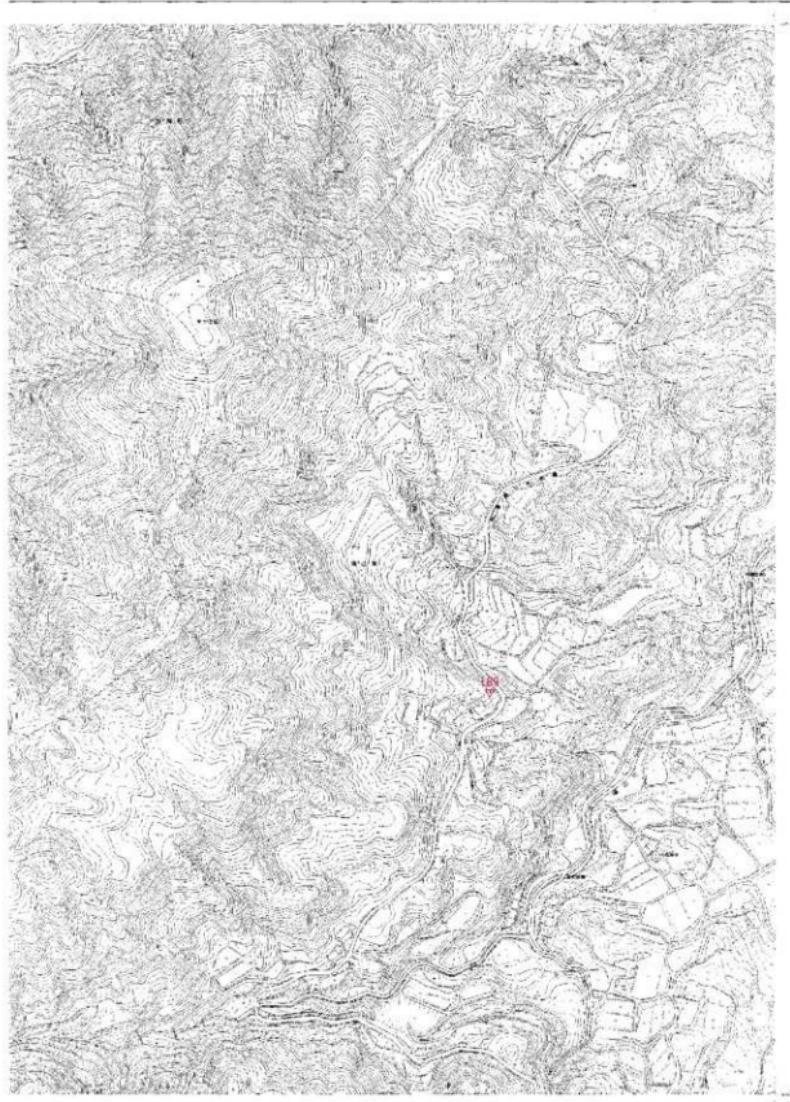


L42 塚原山古墳群 L43 鳥巣城跡（市史2） L44 伝周布氏の墓 L230 山陰道
 L246 吉地古墓 L248 寺本遺跡 L249 市屋敷遺跡 L250 ツナメ遺跡 L254 川原遺跡 L255 宮サコ遺跡

B-9



L92 大谷鍛冶屋跡No1 L93 大谷鍛冶屋跡No2 L96 大谷鉋跡



D-5



E-5

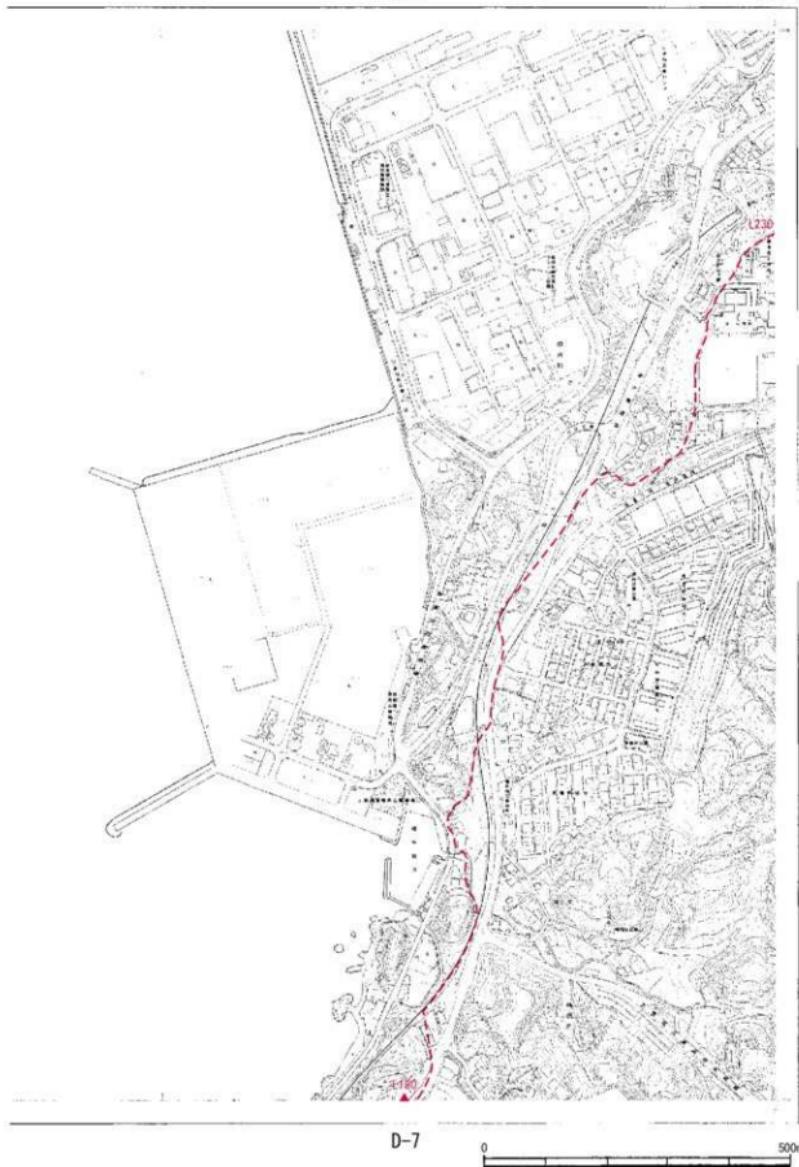
D-6

0

500m

D-5

D-6



D-7

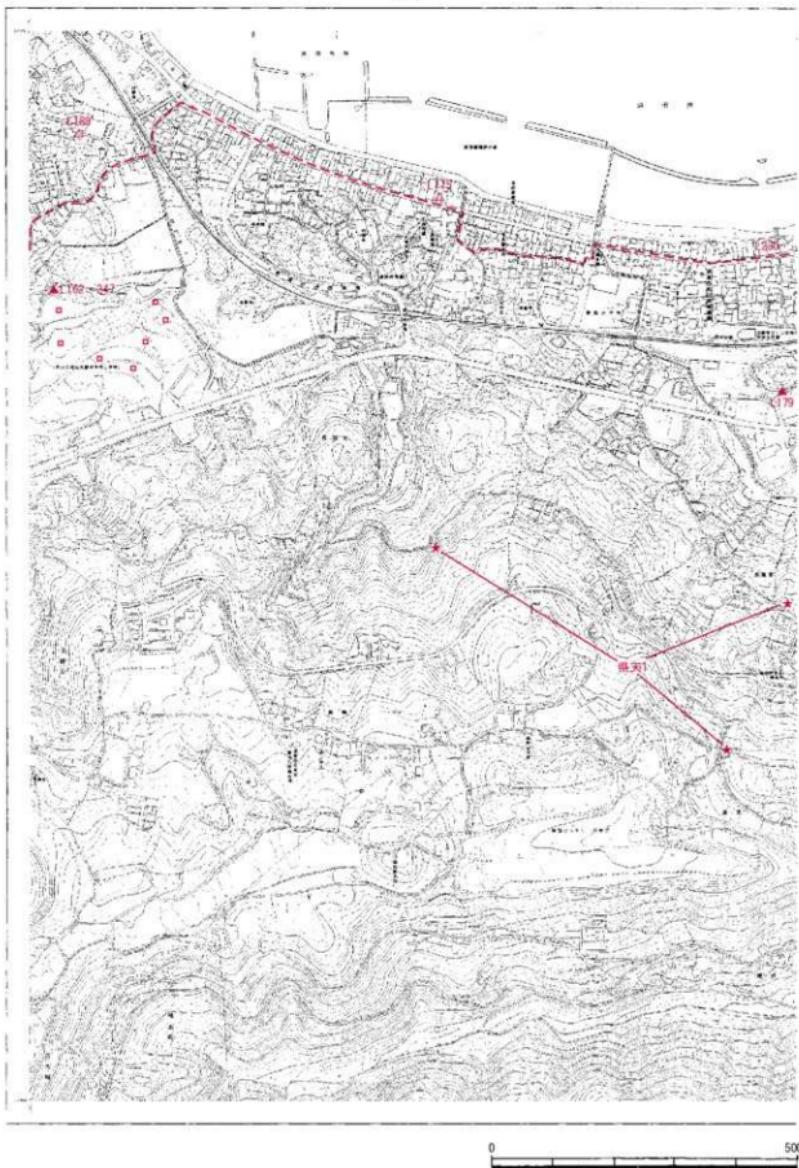
0

500m

L180 村田窯跡 L230 山陰道

D-7

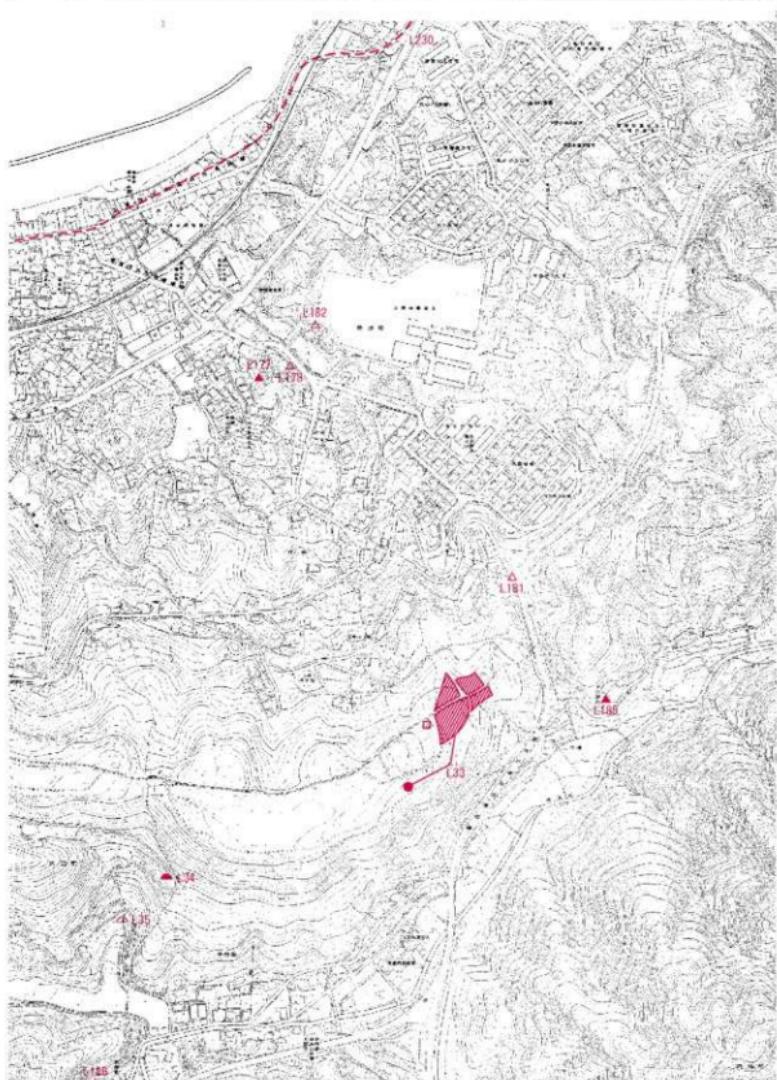
D-6



L162・247 渡辺窯跡 L175 永見窯跡 L179 室田窯跡 L188 佐々木窯跡 L230 山陰道
県天1 黄長石霞石玄武岩

D-6

D-7



D-8

0

500m

L33 道休畠遺跡 L34 後面古墳 L35 上内田古墳 L177 森脇窯跡 L178 森脇分家窯跡
L181 今浦窯跡 L182 小泉窯跡 L185 平野窯跡 L186 岸本窯跡 L230 山陰道

D-8

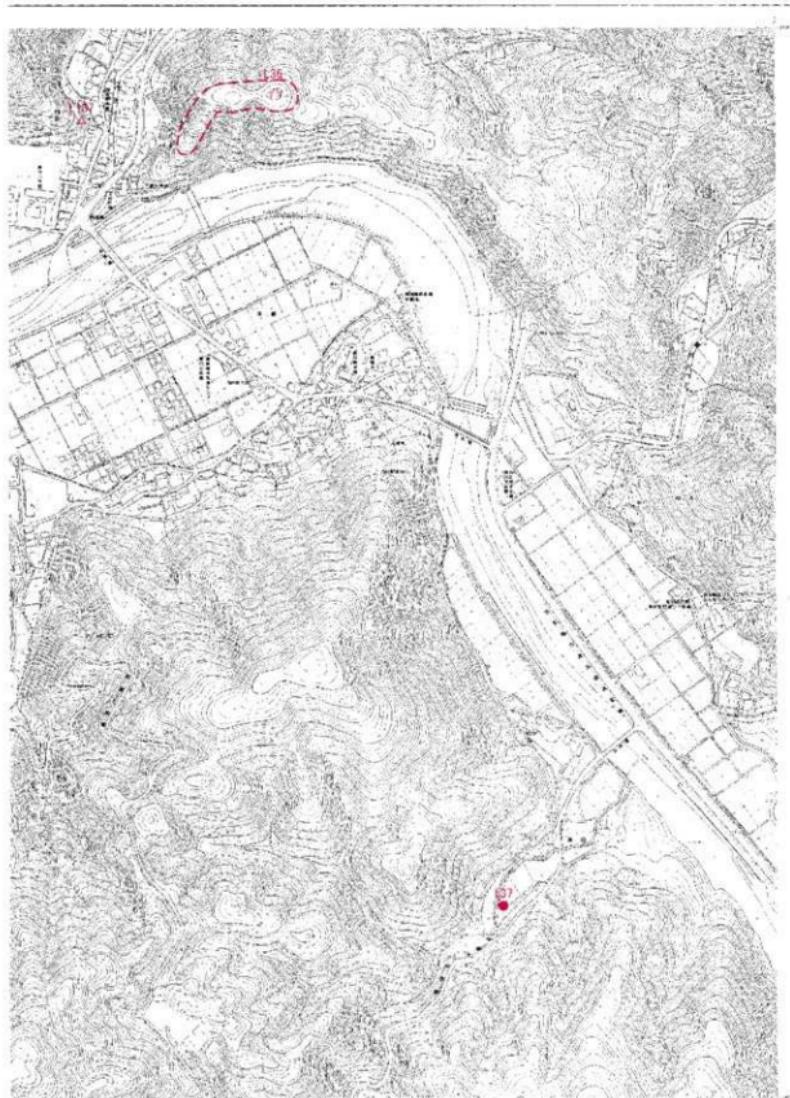
D-7

C-8

D-9

0 500m

L207 王子山古墓



L36 要害山城跡 L37 羽田遺跡 L187 内田塙跡

D-9

D-8

C-9

D-10



L88 田橋鍛冶屋跡



L87 横田原鉱治屋跡





E-4

E-3



E-5

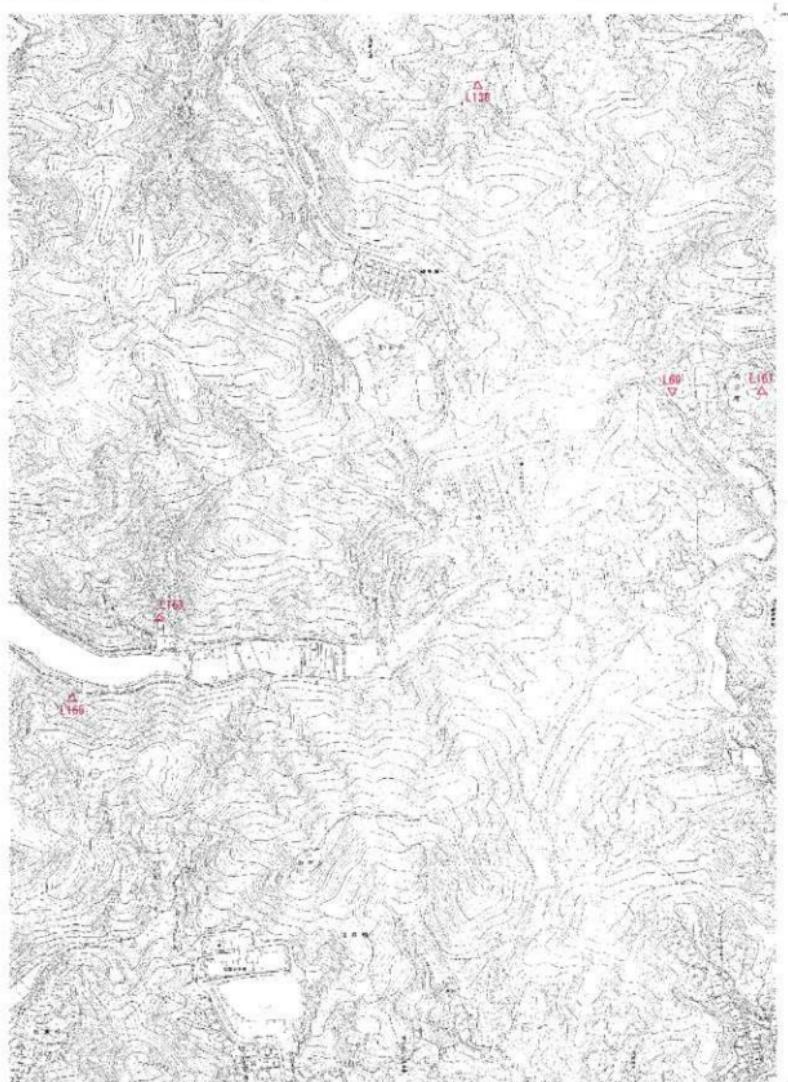
0

500m

L26 日和山方位石 (市史 4) L164 内藤窯跡 L166 西山窯跡 L235 動木窯跡

E-3

E-4



E-5

0

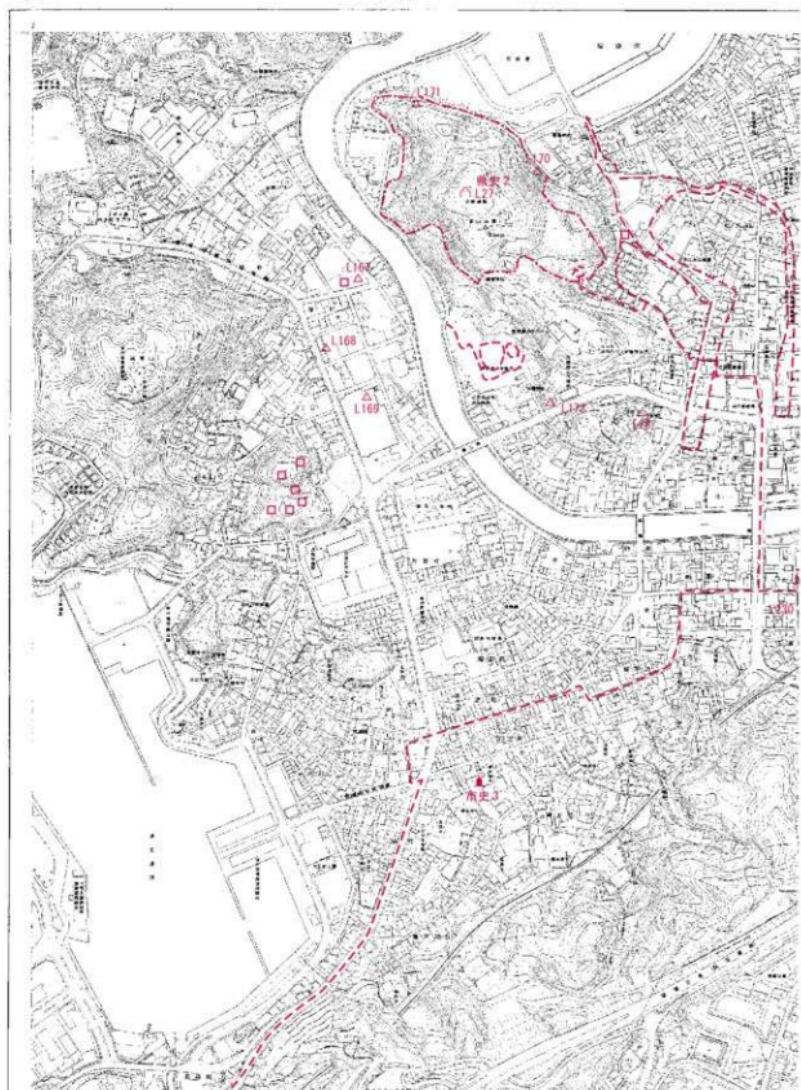
500m

L69 長沢鉛跡 L138 亀谷窯跡 L161 大元窯跡 L163 皿山窯跡 L165 矢鳥窯跡

E-5

E-4

D-5

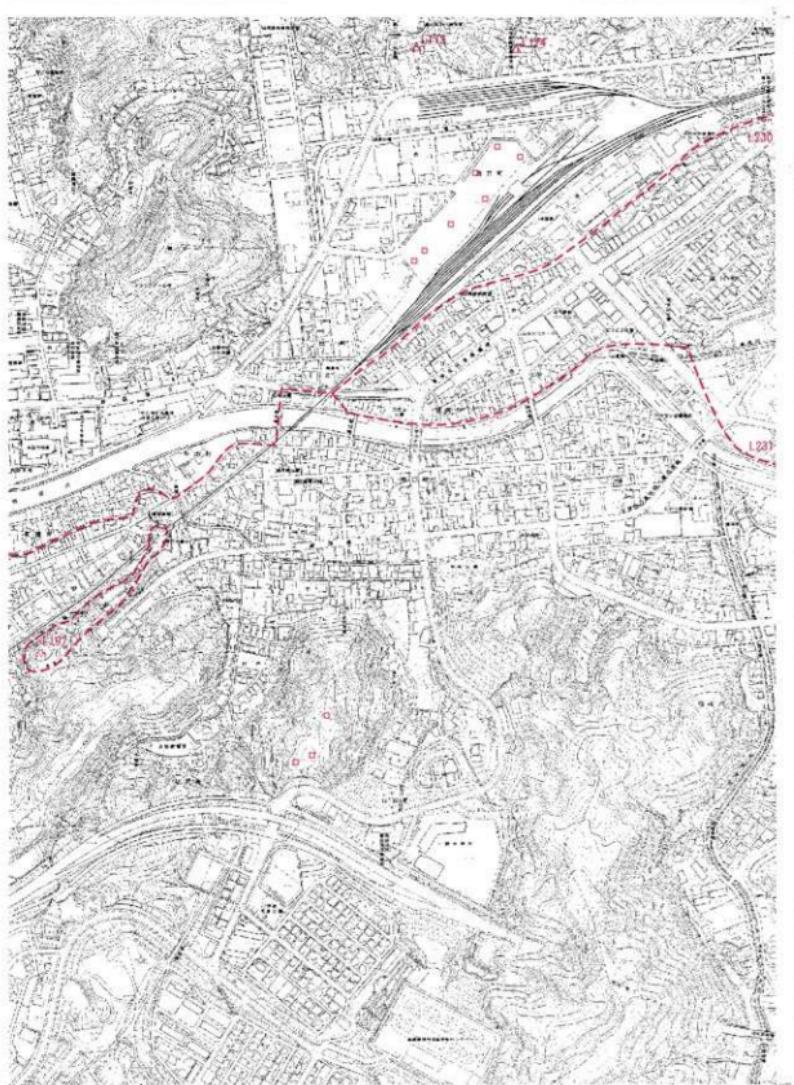


E-6

0

500m

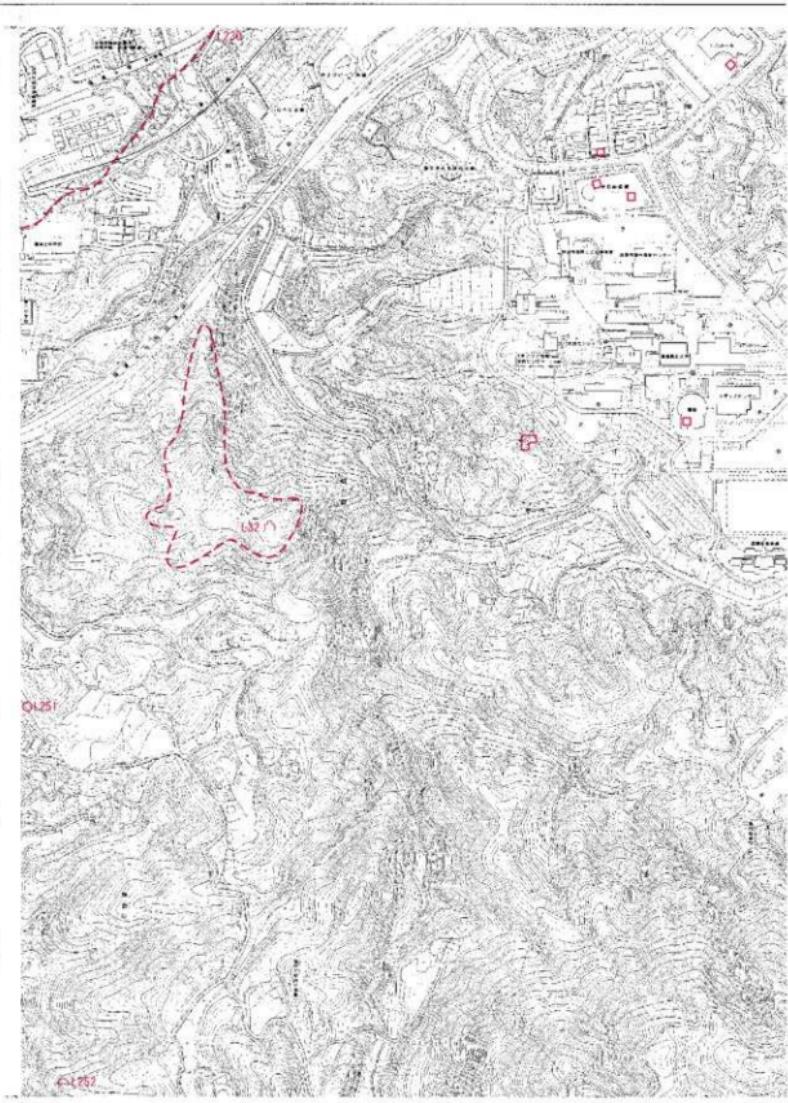
L27 浜田城跡 (県史2) L28 夕日ヶ丘古墳 L167 某窯跡 L168 三沢窯跡 L169 某窯跡
L170 淡島窯跡 L171 お庭焼跡 L172 白川窯跡 L230 山陰道
市史3 東海蘿先生之墓



E-6

E-5

D-6



E-7



L32 小石見城跡 L230 山陰道 L251 片良ヶ平遺跡 L252 神田平遺跡

E-5

E-6



E-7

0

500m

E-7・E-8

E-6

D-7

F-7

D-8

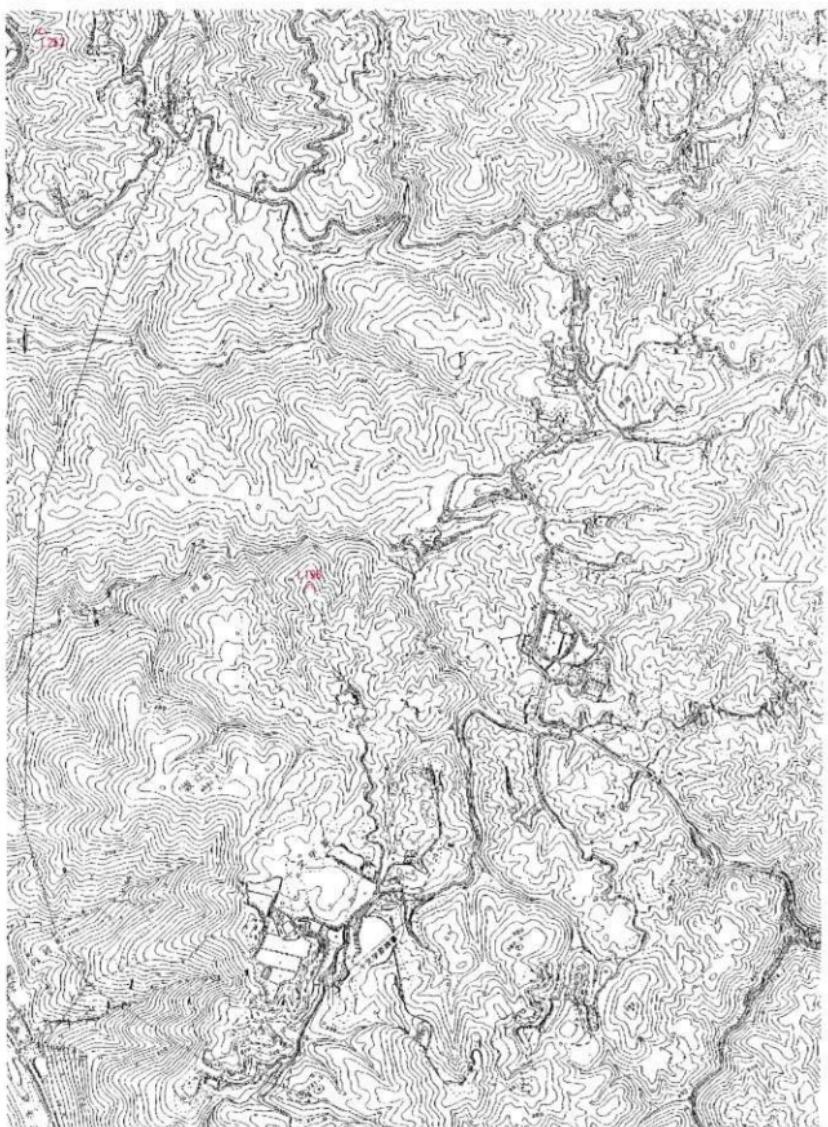
F-8

E-9

0

1,000m

L196 古城跡 L253 松ヶ谷遺跡



E-8

E-9・E-10

D-9

F-9

D-10

F-10

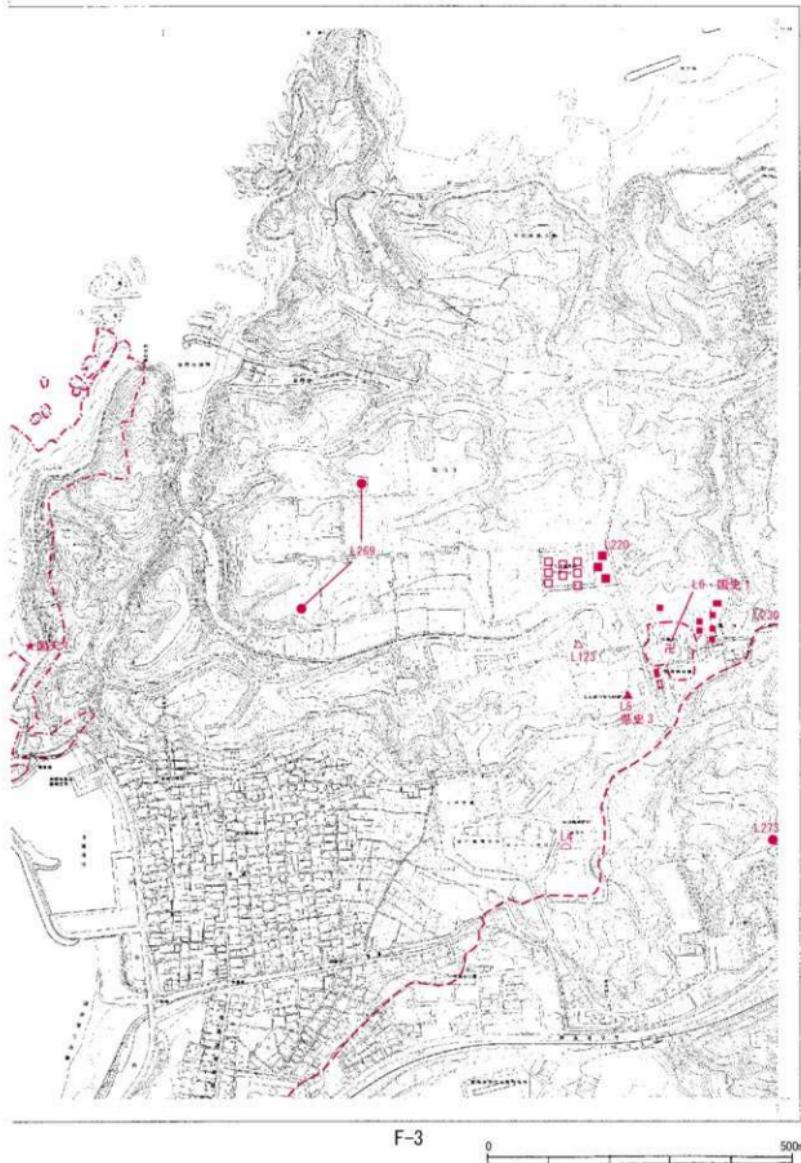
E-11

0

1,000m

L80 唐金山鉱跡 L82 一の瀬鉱跡No1 L83 一の瀬鉱跡No2 L84 一の瀬鉱跡No3
L85 一の瀬鉱跡No4 L86 鋼石鍛冶屋跡





L4 浜田ろう学校敷地古墳 L5 石見国分寺瓦窯跡（県史3） L6 石見国分寺（国史1）
 L123 前中屋窯跡 L220 前場紙漉遺跡 L230 山陰道 L269 金周布遺跡 L273 谷田遺跡
 国天1 石見疊ヶ浦

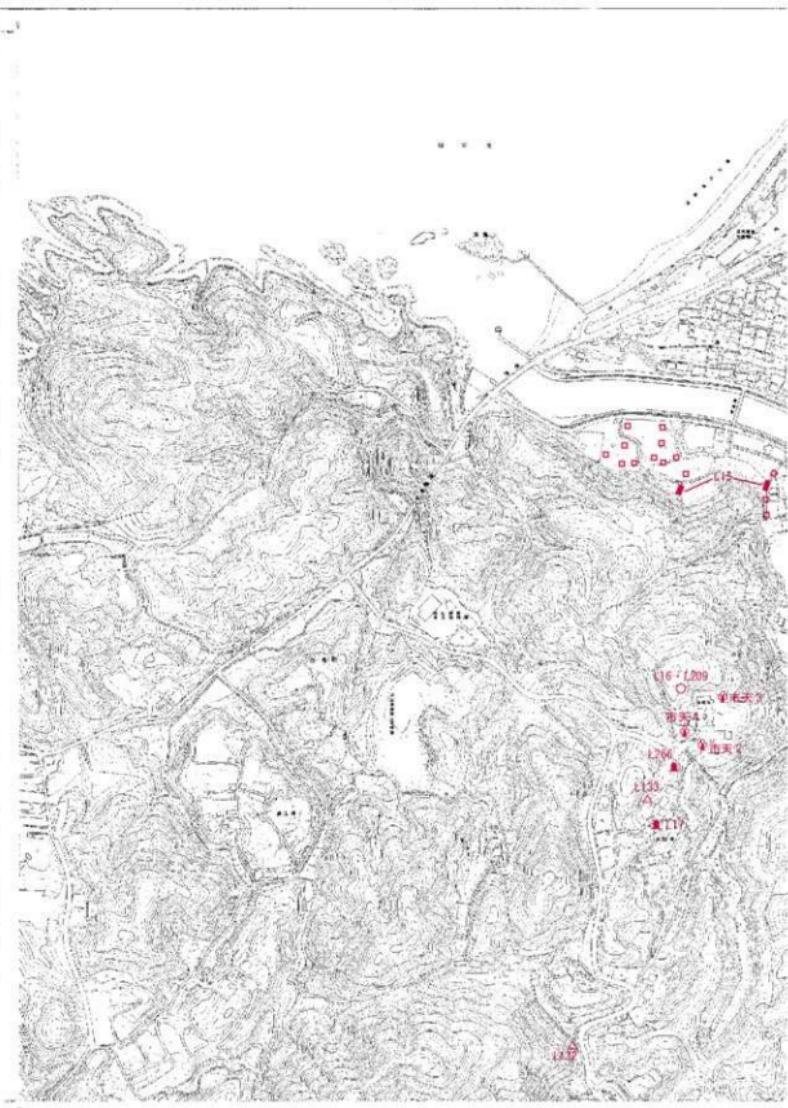
F-3

F-2

E-3

F-4

0 500m

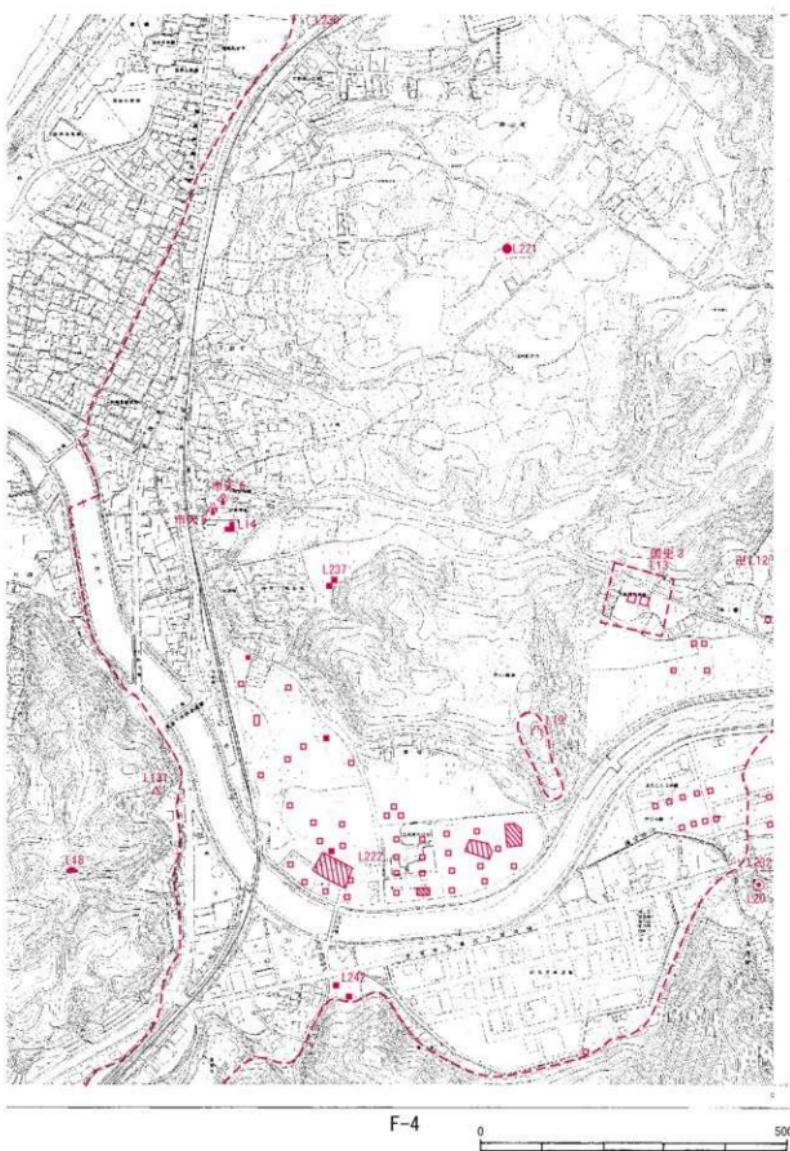


L15 川向遺跡 L16 多陀寺経塚跡 L17 生湯五輪塔 L132 西山窯跡 L133 塩田窯跡

L209 多陀寺遺跡 L266 多陀寺古墓群

市天2 多陀寺のクスノキ 市天3 多陀寺のヒノキ

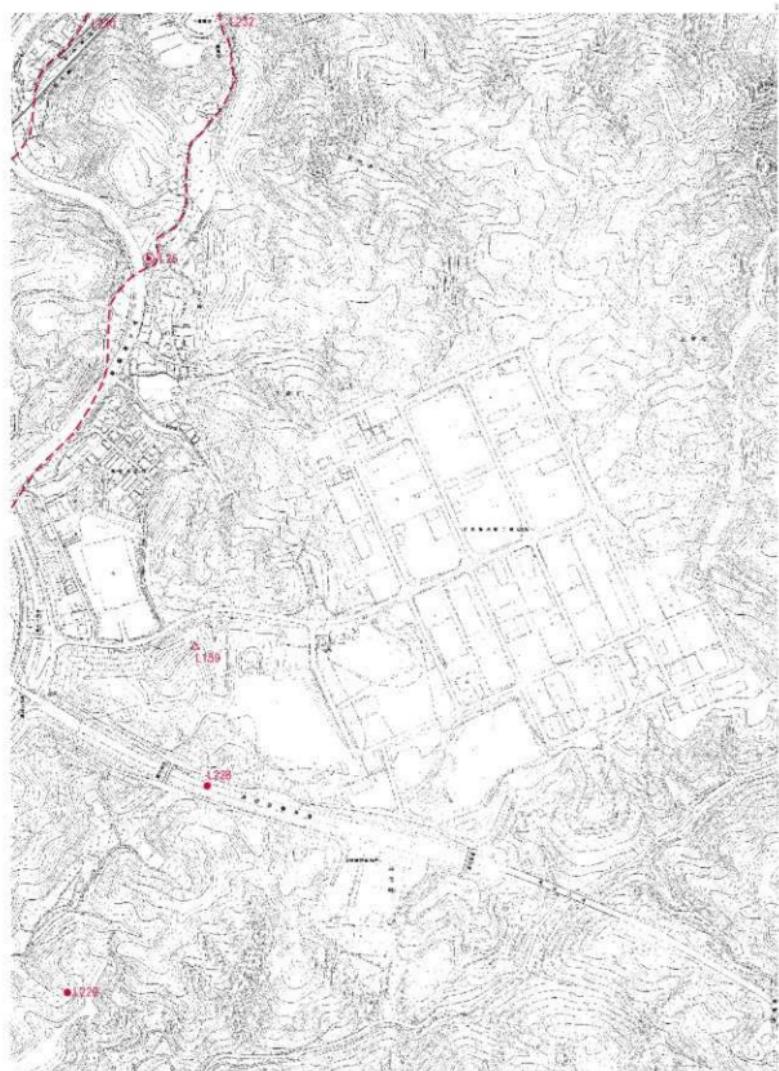
市天4 多陀寺のシイ・タブ林



L12 泰林寺跡 L13 下府廐跡 (国史3) L14 伊甘神社脇遺跡 L18 中ノ古墳 L19 笹山城跡
 L20 伊甘経塚 L131 中村窯跡 L221 大平遺跡 L222 横路遺跡 L230 山陰道 L232 浜田三次往還
 L237 千足遺跡 L242 枝ヶ平遺跡
 市天5 伊甘神社のイチョウ 市天6 伊甘神社のムクノキ

0 500m

- L134 河野窯跡 L135 川上窯跡 L139 山口窯跡 L140 東山窯跡 L142 大吉屋窯跡 L143 吹ヶ追窯跡
 L144 はぜ山窯跡 L145 川神窯跡 L146 川神窯跡 L147 螺山窯跡 L148 吉本窯跡 L149 タカラ屋窯跡
 L150 原田窯跡 L151 野海窯跡 L152 尾崎窯跡 L153 森田窯跡 L154 平野窯跡 L155 岬窯跡
 L156 山本窯跡 L157 木坂窯跡 L158 富士窯跡 L160 大元窯跡 L230 山陰道 L232 浜田三次往還

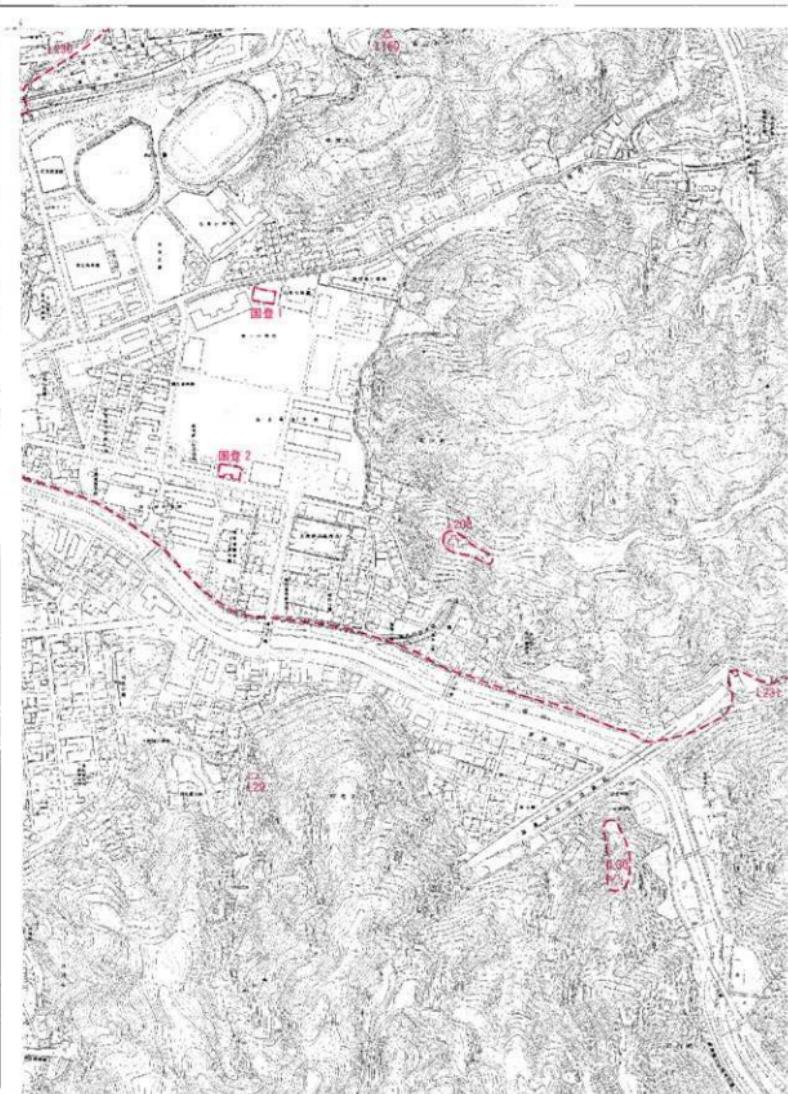


L25 才ヶ岬石疊道 L159 尾崎塗跡 L228 浜伊場遺跡 L229 菖蒲追遺跡 L230 山陰道
L232 浜田三次往還

F-5

F-4

E-5



F-6

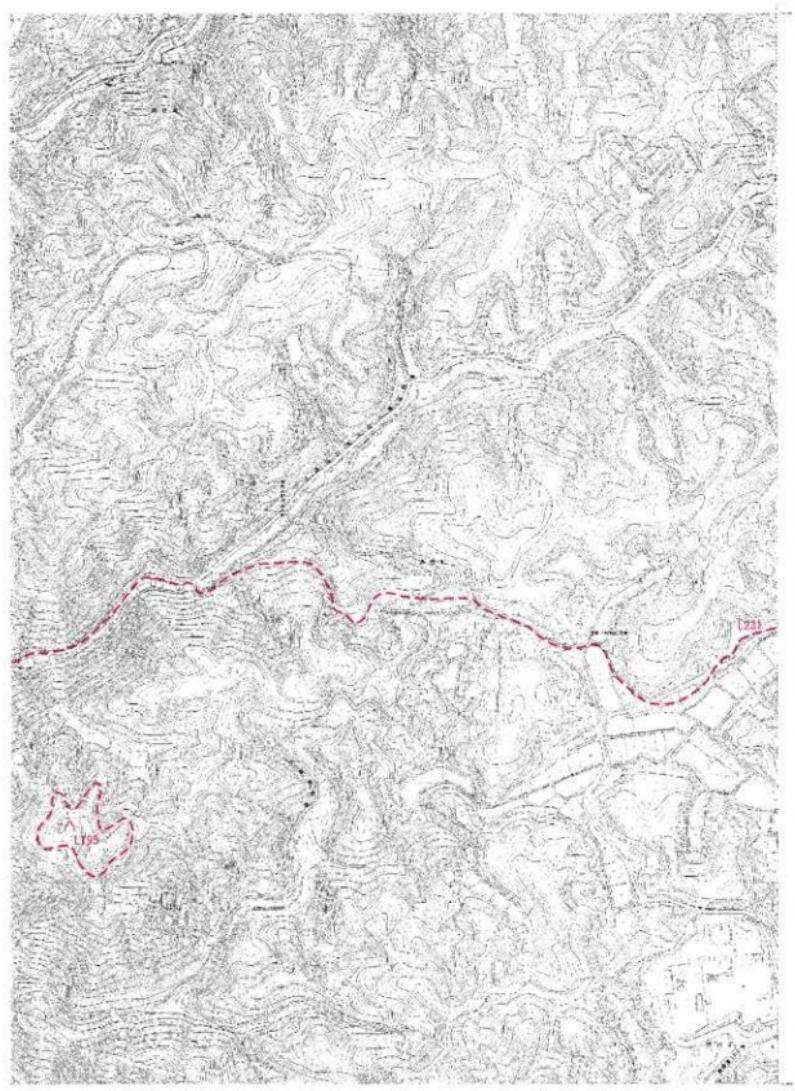
0 500m

L29 社家地古墳群 L30 三子山城跡 L160 大元窯跡 L208 潟城跡 L230 山陰道 L231 浜田広島街道
国登1 浜田市立第一中学校屋内運動場（旧歩兵第二十一連隊雨覆練兵場）
国登2 烏根県立浜田高等学校（旧歩兵二十一連隊雨覆練兵場）

F-4

F-5

G-5



F-6

0

500m

L195 正蓮寺山城跡 L231 浜田広島街道

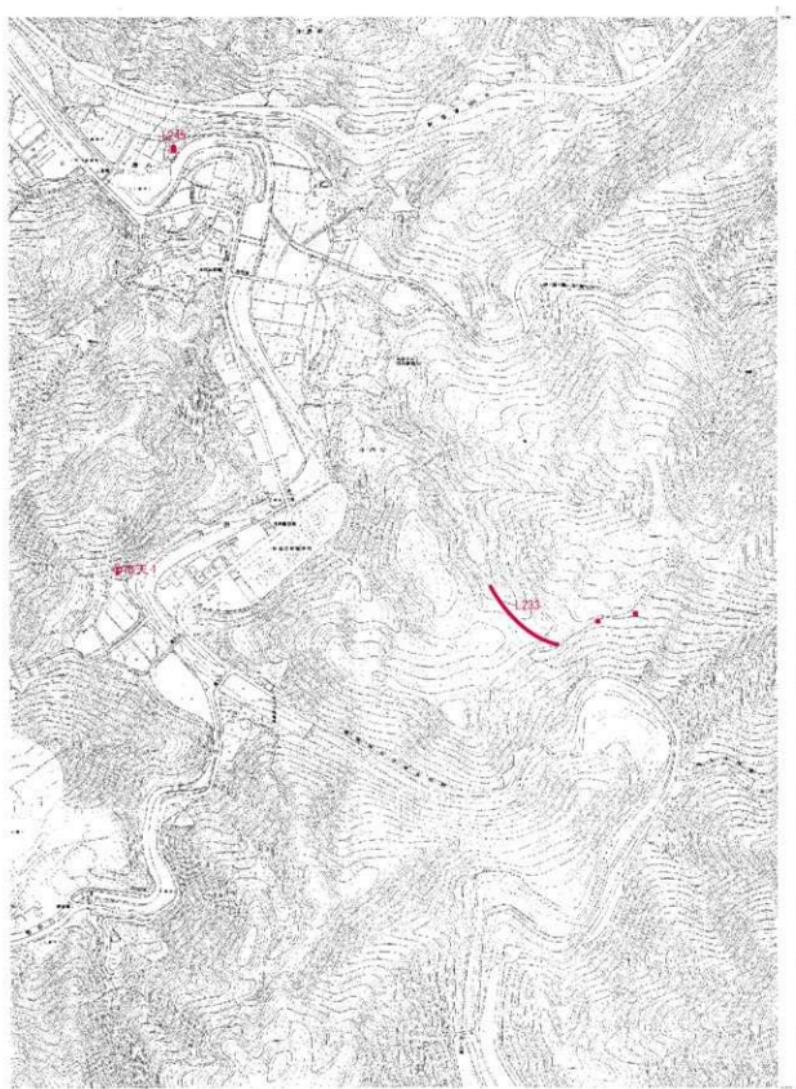
F-6

F-5

E-6

F-7





L233 唐谷坂道 L245 岡本古墓
市天1 ピロードシダ及び群生地

F-7・F-8

F-6

E-7

G-7

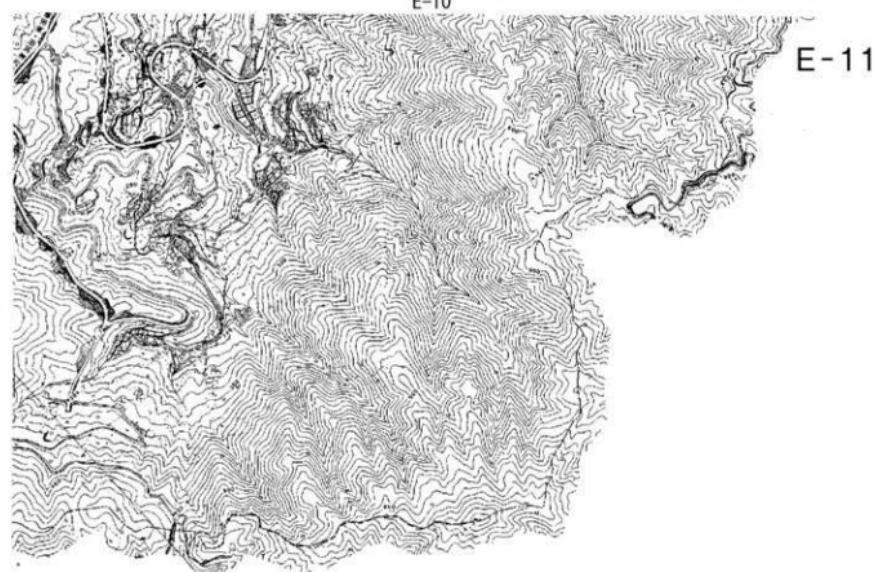
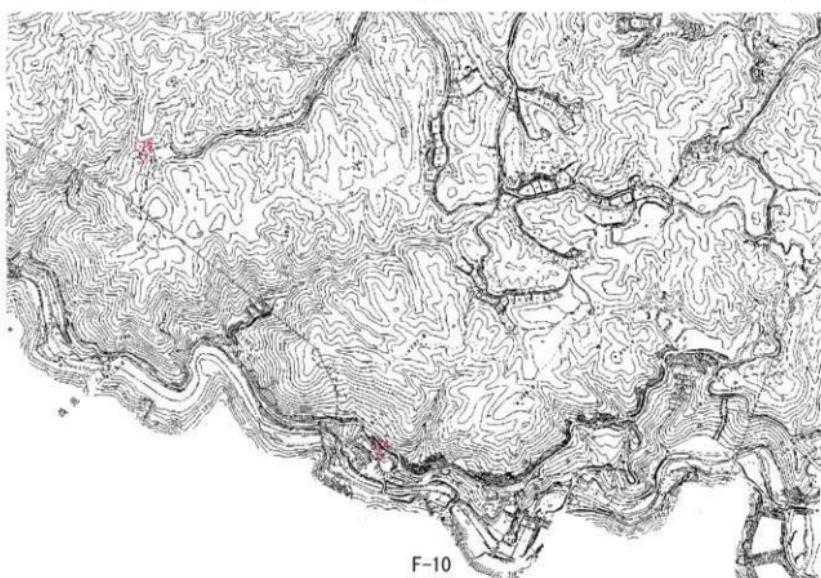
E-8

G-8

F-9



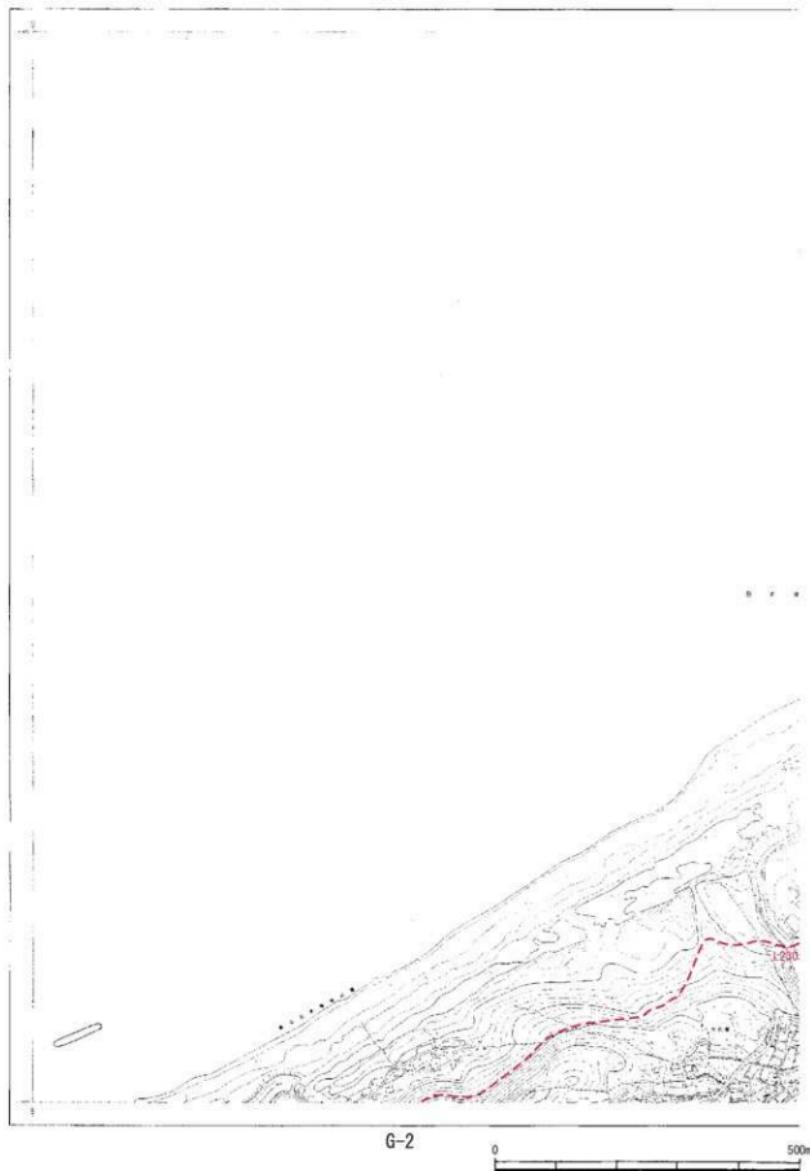
L76 長見鍛冶屋跡 L190 岡本窯跡 L191 村田窯跡



L74 火柱鉄跡 L79 柳木谷鉄跡



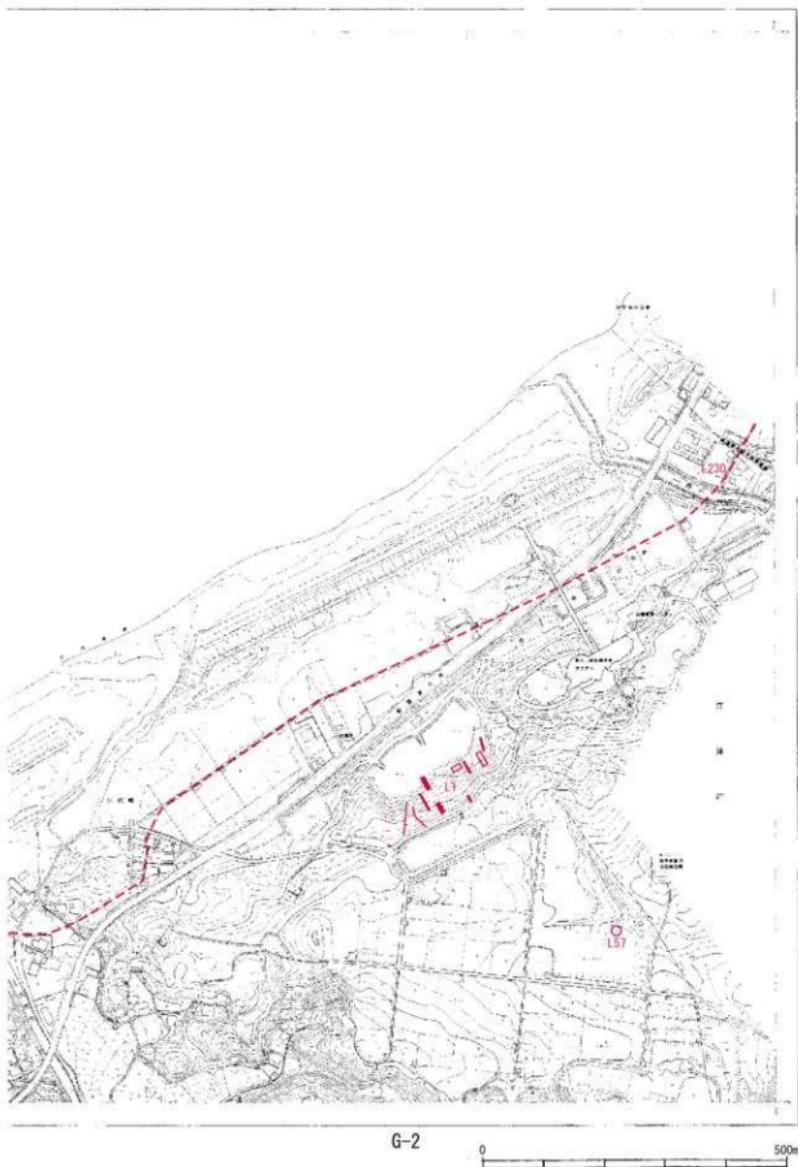
G-1



G-2



L230 山陰道



G-2

0

500m

L1 大平浜遺跡 L57 越峠遺跡 L230 山陰道

G-2

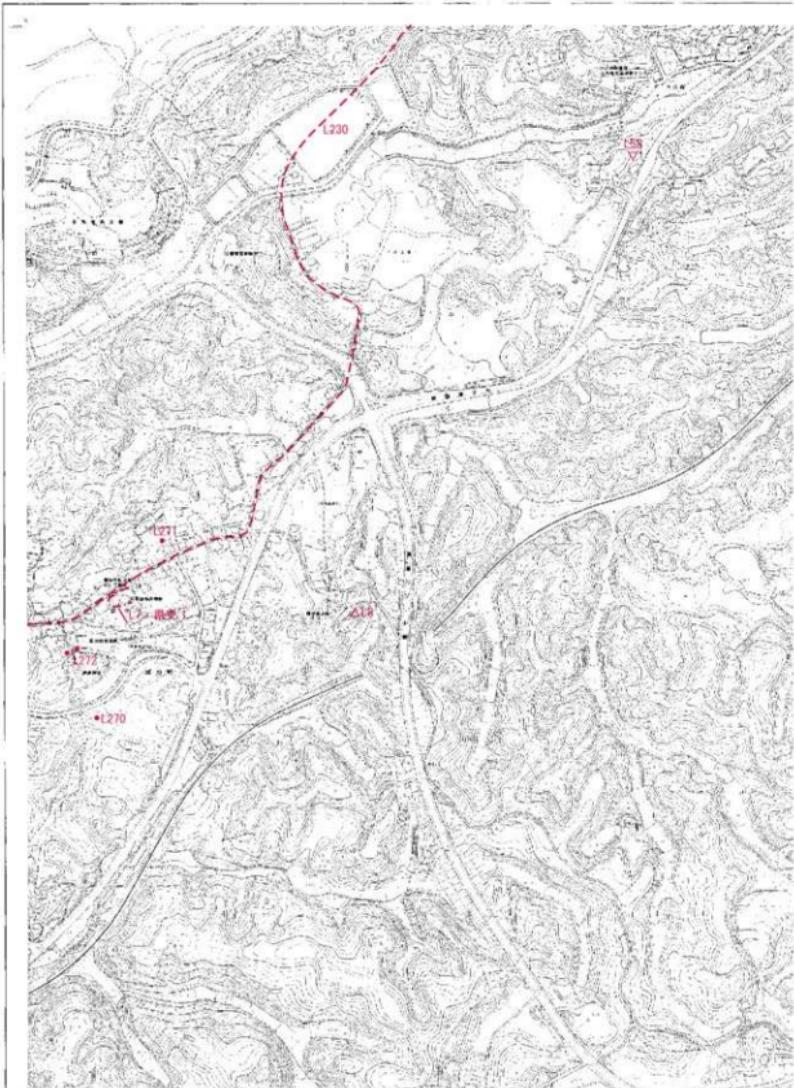
G-1

F-2

G-3

0

500m

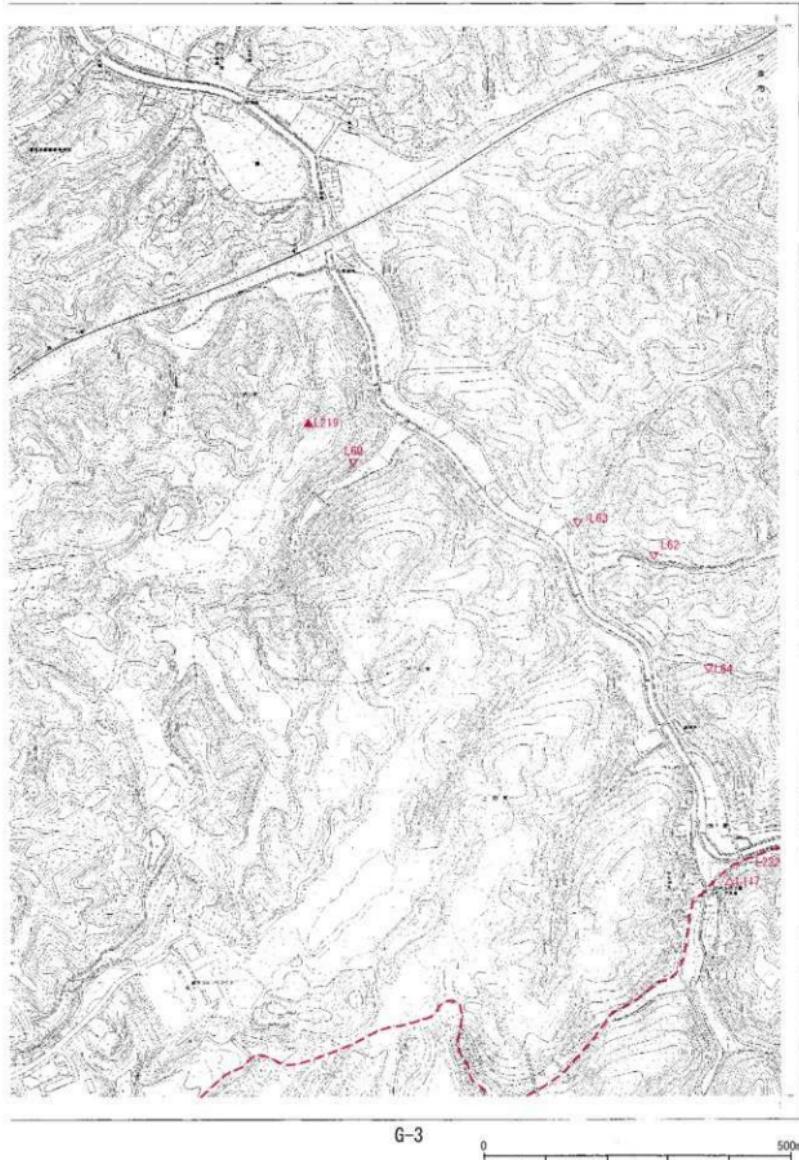


L7 石見国分尼寺跡（県史1） L8 奈古田塚跡 L58 宇津割跡 L230 山陰道

L270 国分尼寺南遺跡 L271 国分尼寺北遺跡 L272 国分尼寺西遺跡

G-1

G-2

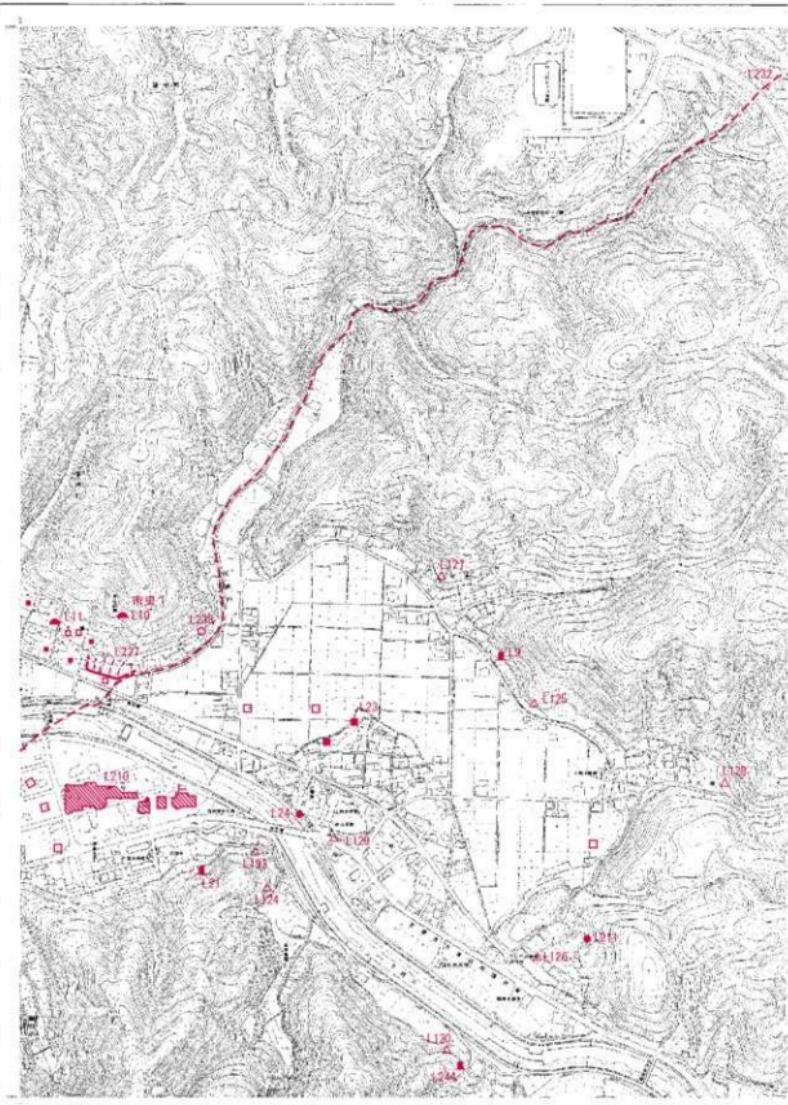


G-3

0

500m

L60 久代鉢群跡No1 L62 荒相鉢群跡No1 L63 荒相鉢群跡No2 L64 西山鉢群跡
L117 中部屋窯跡 L219 西ヶ市窯跡 L232 浜田三次往還

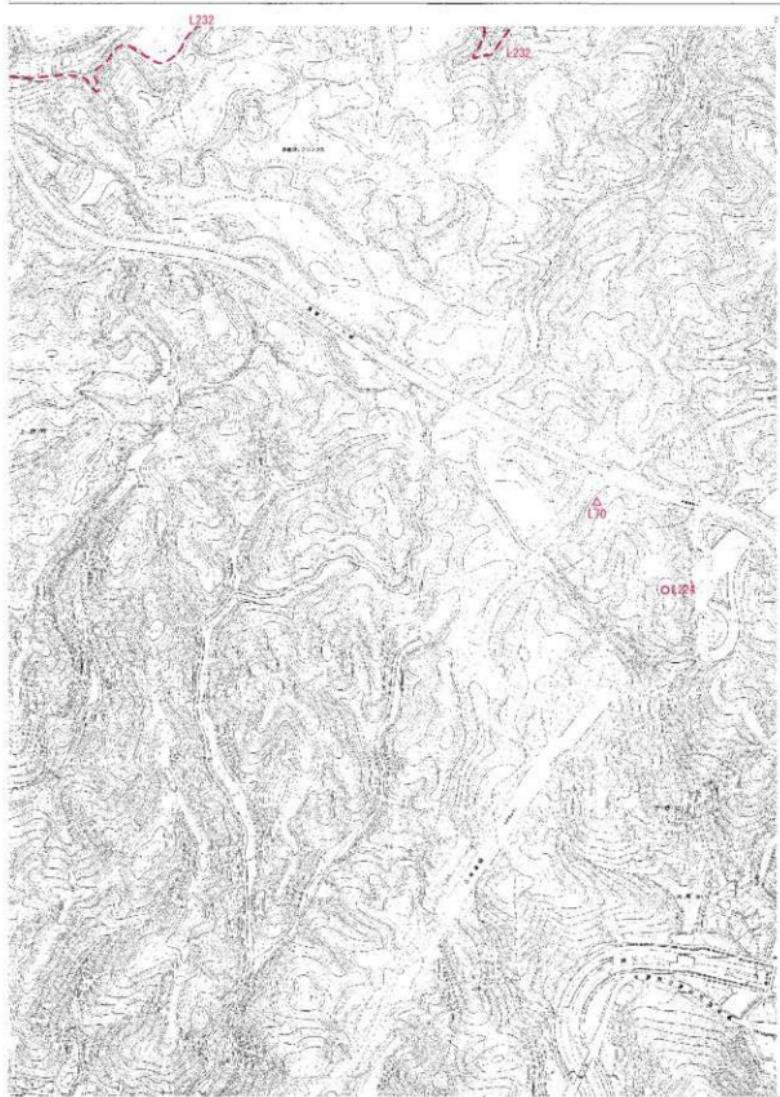


0 500m

- L9 久畠古墳 L10 片山古墳（市史1） L11 半場口古墳群 L21 伝益田氏三代の墓
 L23 上府遺跡 L24 宮山遺跡 L124 かけ塙跡 L125 下手塙跡 L126 新屋塙跡 L127 岩黒塙跡
 L128 あげよしや塙跡 L129 大村屋塙跡 L130 土田屋塙跡 L193 佐々木塙跡 L210 古市遺跡
 L211 新延遺跡 L227 仕切遺跡 L232 浜田三次往還 L238 東遺跡 L244 住吉古墓

G-2

G-3



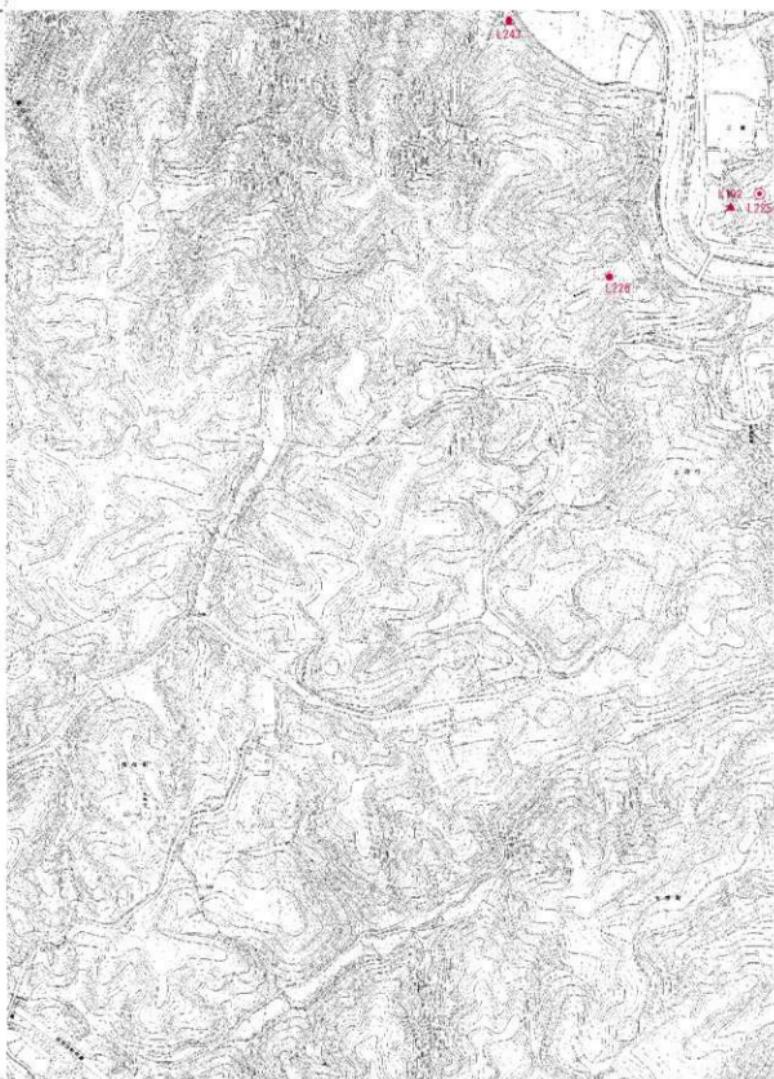
G-4



L70 中曾根鍛冶屋跡 L224 大尾谷遺跡 L232 浜田三次往還

G-4

G-3



F-4

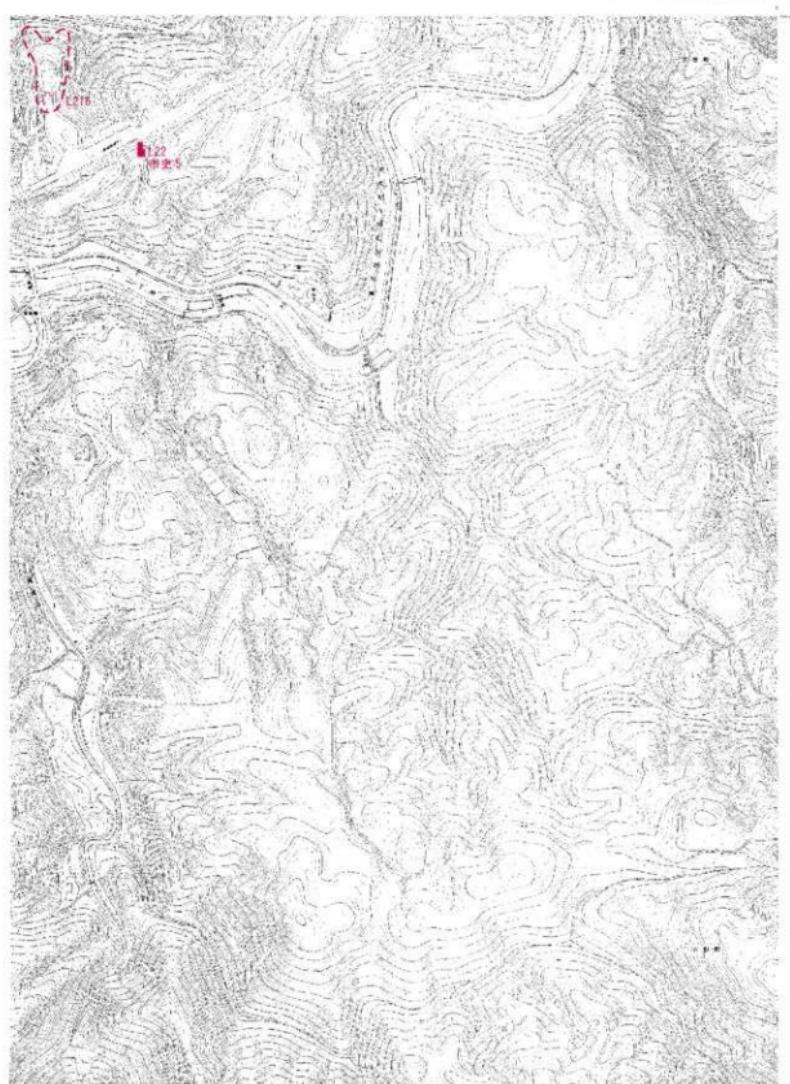
G-5

0 500m

L192 上府八反原窯跡 L225 水戸神社跡 L226 立女遺跡 L243 井塚古墓

G-3

G-4



G-5



L22 上条道路 (市史5) L216 八反原城跡

G-5 · G-6

G-4

F-5

H-5

F-6

H-6

G-7



L56 高手山城跡 L72 後野鍛冶屋跡 L231 浜田広島街道

G-6

G-7 · G-8

F-7



F-8



G-9

0

1,000m

L77 大平鍛冶屋跡 L81 大平鉢跡

G-9・G-10

G-8

F-9



L75・236 大長見鉄跡 L217 雲城山城跡

G-2

I-2

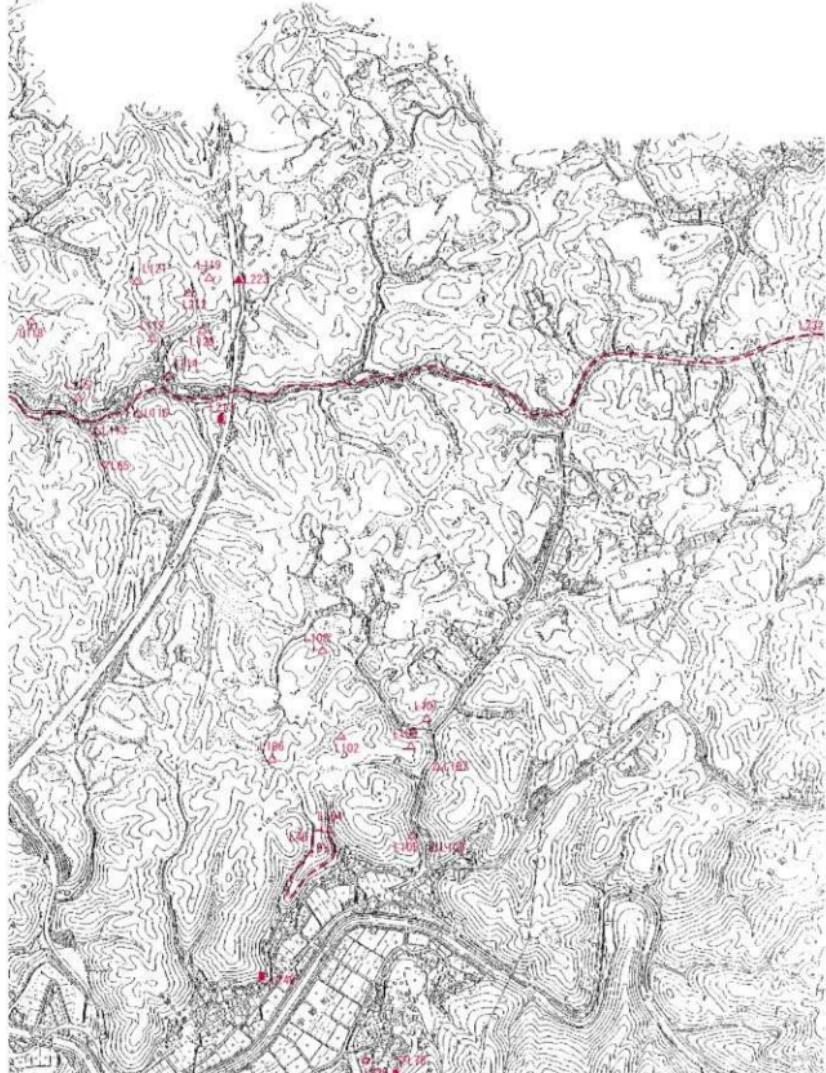
G-3

I-3

H-4

0

1,000m



- L40 龍ヶ城跡 L65 宇野谷跡 L78 宇野跡 L100 いが追廻跡 L101 岡本窯跡 L102 宇野窯跡
- L103 小林窯跡 L104 益田屋窯跡 L105 たよしや窯跡 L106 和田窯跡 L107 扇元窯跡 L108 植野窯跡
- L112 飯田窯跡 L113 東坊下窯跡 L114 とうまや窯跡 L115 竹の河内窯跡 L116 深野窯跡
- L118 下土居窯跡 L119 下中屋窯跡 L120 いりしまや窯跡 L121 花屋窯跡 L122 大谷窯跡
- L213 中堀田古墓 L223 長東坊師窯跡 L232 浜田三次往還 L239 寺ノワキ古墓 L240 梅ノ木古墓

H-4・H-5

H-3

G-4

I-4

G-5

I-5

H-6



L194 小山城跡 L234 中川原遺跡

I-3

I-4 · I-5

H-4

H-5



L71 宇津井鍛冶屋跡 L73 千谷鍛冶屋跡



H-6

H-5

G-6



L231 浜田広島街道

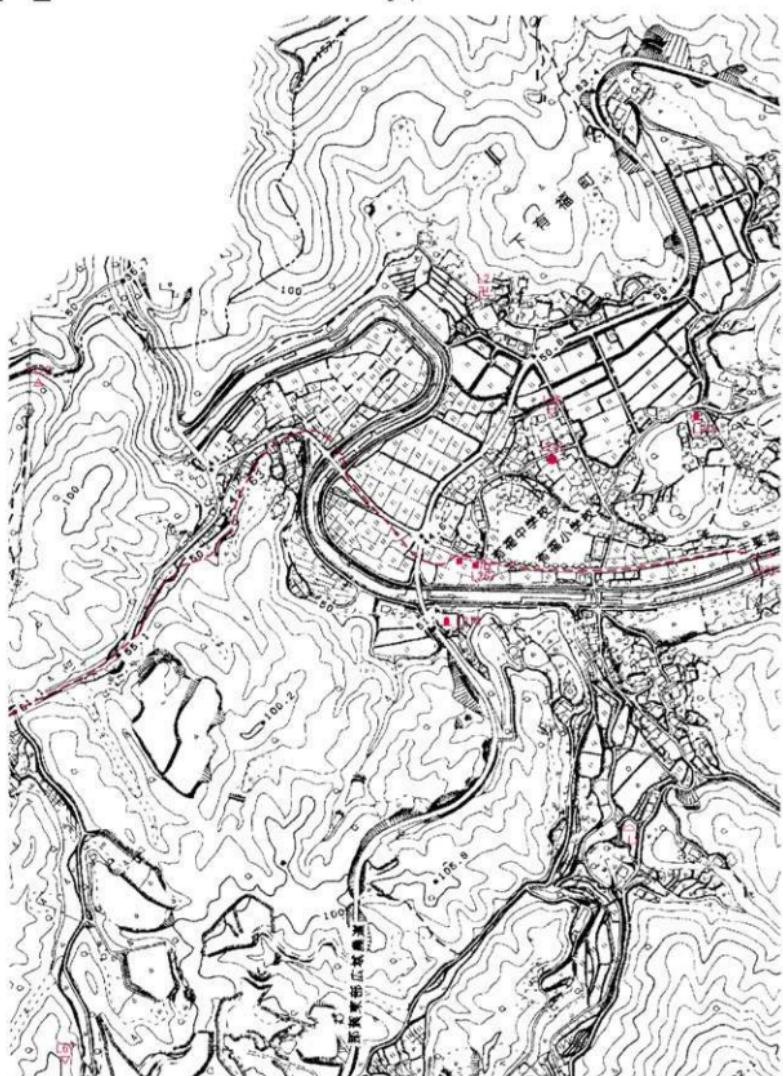


L31 浜田広島街道石疊 L231 浜田広島街道

I-2

I-1

H-2



I-3



L2 泰寧寺跡 L3 火の谷古墳 L66 有福鍛冶屋跡 L67 大津鉢跡
L122 山崎屋窯跡 L214 滝の下古墓 L215 山根古墓 L232 浜田三次往還
L241 原土居遺跡 L267 土居ノ前遺跡

I-1

I-2



I-3

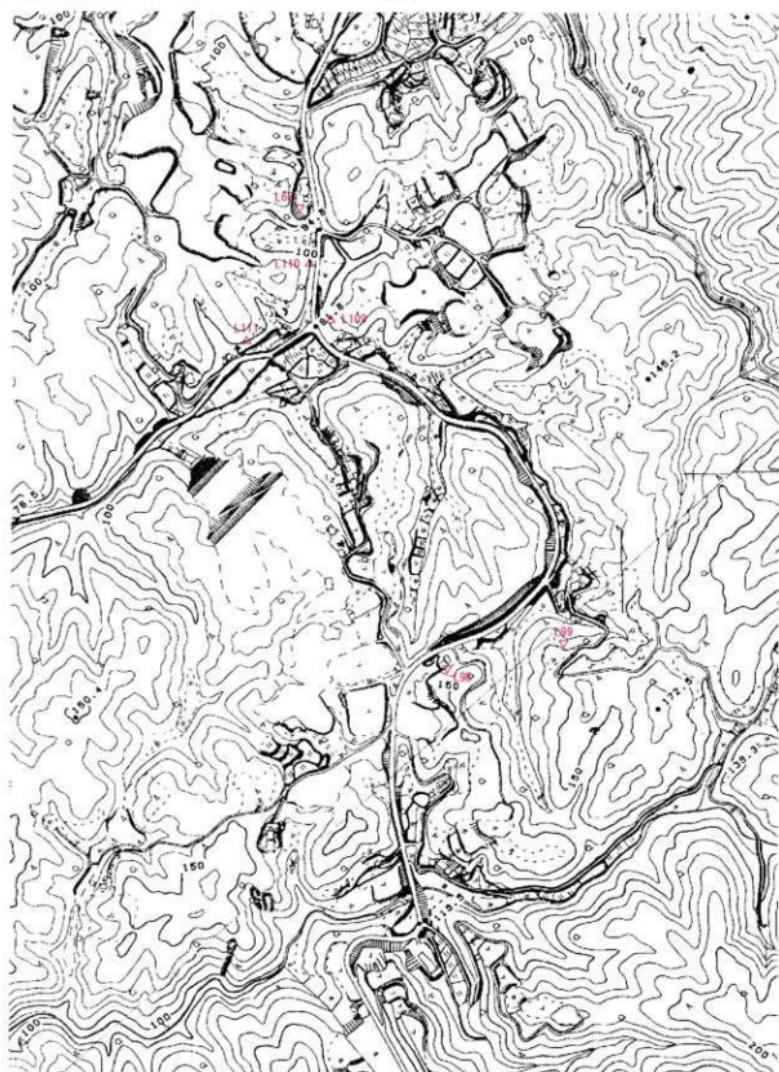


L232 浜田三次往還

I-3

I-2

H-3



I-4



L68 姉金鍛冶屋跡 L98 姉金鉧跡 Nal L99 姉金鉧跡 No2 L109 野海窯跡
L110 岡堂窯跡 L111 飯田窯跡

I-2

I-3



I-4



| 番号 | 名称 | 種別 | 所在 | 概要 | 備考 |
|----|------------|--------|---|------------------------------------|--------------|
| 1 | 大治浜遺跡 | 散布地 | 久代 大治浜 | 須恵器、土師器 | |
| 2 | 麥寺古跡 | 寺院跡 | 下有福 古里敷 | 種札、地藏尊像、宝鏡印等残欠 | |
| 3 | 火の谷古墳 | 古墳 | 下有福 火の谷 | 円墳、五輪塔、宝鏡印等 | |
| 4 | 浜田ろう学校敷地古墳 | 古墳 | 国分 | | 消滅 |
| 5 | 石見国分寺瓦室跡 | 寺跡 | 国分 吉ガセ | 平窓、瓦 | 県指定 |
| 6 | 石見国分寺跡 | 寺跡 | 国分 松林 | 礎石、瓦、埴、須生仏 | 国指定、瀬牛石市指定 |
| 7 | 石見国分尼寺跡 | 寺跡 | 国分 北丘尾所 | 礎石、瓦、須生仏 | 県指定 |
| 8 | 合古田窯跡 | 窯跡 | 国分 合古田 | 須也焼片 | 消滅 |
| 9 | 久浦古窯 | 古窯 | 上原 久浦 | 五輪窑、宝鏡印等 | |
| 10 | 片山古墳 | 古墳 | 下原 片山 | 方墳、横穴式石室 | 市指定 |
| 11 | 手原門古墳群 | 古墳 | 下原 手原口 | | |
| 12 | 手原門1号墳 | 古墳 | 下原 手原口 | 箱式石棺 | |
| 13 | 手原門2号墳 | 古墳 | 下原 手原口 | 横穴式石室 | |
| 14 | 伊計社院跡 | 散布地 | 下原 師所 | 弥生土器、須恵器、陶器組 | 一部国指定 |
| 15 | 印の道跡 | 散布地 | 下原 黒瀬 | 縄状石器、弥生土器、木製、須恵器、陶器 | |
| 16 | 多賀寺新塚跡 | 経塚 | 生湯 | 御製石筒(焼失) | 消滅 |
| 17 | 生湯五輪塔 | 古跡 | 生湯 | 横石張式、瓦 | |
| 18 | 甲子古墳 | 古墳 | 下原 中 | 横穴式石室 | |
| 19 | 山城跡 | 城跡 | 下原 横路 | 山城 | |
| 20 | 伊計経塚 | 経塚 | 上原 伊計 | 五輪塔 | |
| 21 | 伝畠田氏三代の墓 | 古墓 | 上原 伊計 | 宝鏡印等 | |
| 22 | 上秦遺跡 | 祭祀遺跡 | 上原 上條 | 御釋文、須恵器 | 市指定 |
| 23 | 上秦遺跡 | 散布地 | 上原 三宅 | 弥生土器、須恵器、陶器組 | |
| 24 | 冴毛寺跡 | 散布地 | 上原 三宅 | 土師器、古鉢、瓦 | L 231 浜田広為街道 |
| 25 | オホク谷骨頭 | その他 | 下原 オケ峰 | 通幅6尺 | 市指定 |
| 26 | 日和田方角石 | その他 | 外ノ浦 日和田 | 天保5年建立 | 県指定、龜山城跡 |
| 27 | 西山城跡 | 城跡 | 西山 山城 | 平山城、瓦、須恵器 | 消滅 |
| 28 | 夕日ヶ丘古墳 | 古墳 | 殿町 夕日ヶ丘 | | |
| 29 | 桂井山古墳群 | 古墳 | 相生 桂家地 | 横穴式石室、須恵器 | |
| 30 | 三子山城跡 | 城跡 | 相生 | 山城 | 三子子山城 |
| 31 | 浜田市馬街道石置道 | その他 | 佐野 | 通幅7尺・たんご坂 | L 232 浜田三次往還 |
| 32 | 小川見城跡 | 城跡 | 原井 | 山城 | 大坪平 |
| 33 | 道休道跡 | 集落跡 | 内田 道休畠 | 弥生土器、土師器、堅穴住居 | |
| 34 | 後谷古墳 | 古墳 | 内田 後谷 | 土器、刀劍 | 埴丘消滅 |
| 35 | 上久田古墳 | 古墳 | 内田 上久田 | | 田城 |
| 36 | 要守山城跡 | 城跡 | 内田 要守山 | 山城 | |
| 37 | 日引遺跡 | 散布地 | 内田 日引 | 磨製石斧 | |
| 38 | 鷺の古墳 | 古墳 | 日脚 鶲居 | | 消滅 |
| 39 | 日引下浦古墳 | 古墳 | 日脚 | 石棺、土師器、須恵器 | 消滅 |
| 40 | 豊ノ城跡 | 城跡 | 宇野 | 山城 | |
| 41 | 日脚遺跡 | 古墳、廻跡跡 | 日脚 | 古墳群、須恵器、鐵、織文早期の土被群、集石炉、奈良時代の掘立柱建物跡 | |
| 42 | 猿丸山古墳群 | 古墳 | 周布 | 円墳、横穴式石室 | |
| 43 | 唐人城跡 | 城跡 | 周布 | 要害 | 市指定、周布城跡 |
| 44 | 伝畠田氏の墓 | 古墓 | 周布 | 宝鏡印等、五輪塔 | |
| 45 | 天守寺古墳 | 古墳 | 治和 丹門 | 刀劍、須恵器 | 消滅 |
| 46 | 青ノ城跡 | 城跡 | 西村 青口 | 山城 | |
| 47 | 坂止跡 | 散布地 | 西村 坂止 | 打製石斧 | |
| 48 | 木ノ井遺跡 | 散布地 | 治和 木ノ井地 | 磨製石斧片 | |
| 49 | 奥布古墳 | 古墳 | 治和 二老 | 前方後円墳、埴輪 | 国指定 |
| 50 | めんくろ古墳 | 古墳 | 治和 二老 | 彷彿鏡、玉、馬具、大刀、鉢施 | 出土品県指定 |
| 51 | 小西ヶ丘古墳 | 古墳 | 治和 小西 | 円墳 | |
| 52 | 城跡古風古墳 | 古墳 | 津摩 城追 | 横穴式石室、須恵器 | 発掘調査、消滅 |
| 53 | 森ノ曾根古墳 | 古墳 | 治和 | 横穴式石室、須恵器 | 発掘調査、消滅 |
| 54 | 朝日遺跡 | 土塹跡 | 治和 相田 | 弥生土器、土師器、須恵器、石器、陶器 | 出土品一部市指定 |
| 55 | 朝日古墳群 | 古墳 | 治和 犀石 | 4基 | |
| 56 | 朝日1号墳 | 古墳 | 治和 犀石 | | 破壊 |
| 57 | 朝日2号墳 | 古墳 | 治和 犀石 | 円墳 | |
| 58 | 字津割御跡 | 製鉄遺跡 | 久代 1027 ~ 1030 カナクシハナ | | |
| 59 | 60と同一 | | | | |
| 60 | 久代御跡群跡No.1 | 製鉄遺跡 | 久代 157 ~ 159 · 1280 ~ 1281 ~ 1284 春 ¹ | | |
| 61 | 60と同一 | | | | |
| 62 | 荒相御跡群跡No.1 | 製鉄遺跡 | 久代 荒相 830 ~ 831 カナクソ | | |
| 63 | 荒相御跡群跡No.2 | 製鉄遺跡 | 久代 荒相 864 カナクソ | | |
| 64 | 西山御跡群跡 | 製鉄遺跡 | 久代 573 ~ 578 956 ~ 961 カナクソ | | |

| | | | | | | |
|-----|------------|------|---------------------|--|--|--|
| 65 | 宇野谷鉄跡 | 製鉄遺跡 | 久代 竜相 185 カナクリ | | | |
| 66 | 有福銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 下有福 357 銅冶屋 | | | |
| 67 | 大津銅跡 | 製鉄遺跡 | 大金 大津口 460 鉢谷 | | | |
| 68 | 鈴木銀治屋跡 | 製鉄遺跡 | 大金 鈴木イ 625 銀治屋 | | | |
| 69 | 長沢銅跡 | 製鉄遺跡 | 長沢 朝 銅 | | | |
| 70 | 中野根銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 宇野 朝 金相 | | | |
| 71 | 宇津井銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 宇津井 423 銅冶屋 | | | |
| 72 | 後野銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 後野 775 銅冶屋 | | | |
| 73 | 子谷銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 宇津井 664 972 ~ 鉢谷 | | | |
| 74 | 大谷銅跡 | 製鉄遺跡 | 長見 935 | | | |
| 75 | 大見銅跡 | 製鉄遺跡 | 長見 1043 古伊 | | | |
| 76 | 長見銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 長見 755 銅冶屋 | | | |
| 77 | 大谷銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 長見 555 古文書 | | | |
| 78 | 宇野銅跡 | 製鉄遺跡 | 宇野 1022 | | | |
| 79 | 梅木谷銅跡 | 製鉄遺跡 | 長見 | | | |
| 80 | 賀金山銅跡 | 製鉄遺跡 | 長見 | | | |
| 81 | 大村銅跡 | 製鉄遺跡 | 長見 554 古文書 | | | |
| 82 | 一の瀬銅跡No.1 | 製鉄遺跡 | 鍋石 504 鉢谷 | | | |
| 83 | 一の瀬銅跡No.2 | 製鉄遺跡 | 鍋石 金屋子神社、古文書 | | | |
| 84 | 一の瀬銅跡No.3 | 製鉄遺跡 | 鍋石 | | | |
| 85 | 一の瀬銅跡No.4 | 製鉄遺跡 | 鍋石 | | | |
| 86 | 鍋石銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 鍋石 505 銅冶屋 | | | |
| 87 | 樺山原銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 樺山原 355 銅冶屋 | | | |
| 88 | 田橋銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 田橋 440 銅冶屋 | | | |
| 89 | 樺山銅跡 | 製鉄遺跡 | 樺山 292-1 | | | |
| 90 | 青野銅冶屋跡 | 製鉄遺跡 | 西村 415 銅冶屋 | | | |
| 91 | 青谷銅跡 | 製鉄遺跡 | 西村 414 鉢 | | | |
| 92 | 太谷銅冶屋跡No.1 | 製鉄遺跡 | 西村 1736 銅冶屋 | | | |
| 93 | 太谷銅冶屋跡No.2 | 製鉄遺跡 | 西村 1737 銅冶屋 | | | |
| 94 | 大谷銅冶屋跡No.3 | 製鉄遺跡 | 西村 1738 銅冶屋 | | | |
| 95 | 大谷銅冶屋跡No.4 | 製鉄遺跡 | 西村 1739 銅冶屋 | | | |
| 96 | 大谷銅跡 | 製鉄遺跡 | 西村 489 鉢 | | | |
| 97 | 西野銅跡 | 製鉄遺跡 | 西村 2011 鉢 | | | |
| 98 | 梅木谷銅跡No.1 | 製鉄遺跡 | 大金 鈴木イ 449 鉢 | | | |
| 99 | 梅木谷銅跡No.2 | 製鉄遺跡 | 大金 鈴木イ 460 鉢 | | | |
| 100 | 一丁目が原窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 101 | 岡本窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 102 | 宇野窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 103 | 小林窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 104 | 益田窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 105 | たなしや窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 106 | 和田窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 107 | 國元窯跡 | 窯跡 | 宇野 丸物 | | | |
| 108 | 柿野窯跡 | 窯跡 | 宇野 上条 丸物 | | | |
| 109 | 野村窯跡 | 窯跡 | 大金 緑多 丸物 | | | |
| 110 | 勇吉窯跡 | 窯跡 | 大金 緑多 丸物 | | | |
| 111 | 坂口窯跡 | 窯跡 | 大金 緑多 丸物 | | | |
| 112 | 御田窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 113 | 東方下窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 114 | さとうや窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 115 | 竹の内窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 116 | 美作窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物、登り窓小116間1基 | | | |
| 117 | 中部窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 118 | 下十日居窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 119 | 下十日居窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 120 | いのしまや窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 121 | 花崎窯跡 | 窯跡 | 上府 要相 丸物 | | | |
| 122 | 山崎窯跡 | 窯跡 | 大金 大蛇 丸物 | | | |
| 123 | 前川窯跡 | 窯跡 | 国分 丸窯、昭和初期 | | | |
| 124 | 合7窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 125 | 下丁窯跡 | 窯跡 | 上府 丸 | | | |
| 126 | 新町窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 127 | 若狭窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 128 | あわよしや窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 129 | 大日原窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 130 | 田代窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 131 | 中川窯跡 | 窯跡 | 上府 丸物 | | | |
| 132 | 内川窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物 | | | |
| 133 | 猪口窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物 | | | |
| 134 | 河内窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物 | | | |
| 135 | 川上窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物 | | | |
| 136 | 佐々木窯跡 | 窯跡 | 生湯 丸物 | | | |
| 137 | 高浜窯跡 | 窯跡 | 生湯 丸物 | | | |
| 138 | 飛鳥窯跡 | 窯跡 | 生湯 丸 | | | |
| 139 | 山口窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物、古文書 | | | |
| 140 | 東川窯跡 | 窯跡 | 生湯 丸物、古文書 | | | |
| 141 | 1142と同一 | | | | | |
| 142 | 大谷窯跡 | 窯跡 | 長沢 4種、丸 | | | |
| 143 | 吹屋追跡 | 窯跡 | 長沢 丸物、瓦 | | | |
| 144 | ほせ山窯跡 | 窯跡 | 長沢 丸物 | | | |

| | | | |
|-------------|-----|--------|-----------------|
| 145川神室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦、登り窓小口数13口1基 |
| 146川神室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 147櫛山室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 148吉良室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 149タラ屋室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物、瓦 |
| 150原田室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦 |
| 151野原室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 152伊勢室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 153舟形室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 154宇野室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 155時野室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 156山本室跡 | 南跡 | 長沢 | 丸物 |
| 157木戸室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦、戦後 |
| 158富士室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦、戦後 |
| 159河崎室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦 |
| 160大久保室跡 | 南跡 | 北沢 | 瓦 |
| 161大久保室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦 |
| 162渡良室跡 | 南跡 | 長沢 | 瓦 |
| 163賀山室跡 | 南跡 | 外ノ浦 | 丸物、茶器、罐器 |
| 164内山室跡 | 南跡 | 外ノ浦 | すり鉢 |
| 165矢島室跡 | 南跡 | 外ノ浦 | すり鉢 |
| 166西山室跡 | 南跡 | 外ノ浦 | すり鉢 |
| 167某室跡 | 南跡 | 港町 | すり鉢 |
| 168八日室跡 | 南跡 | 港町 | 丸物 |
| 169某室跡 | 南跡 | 港町 | 丸物、雜器 |
| 170浜原室跡 | 南跡 | 松原 | 丸物、雜器 |
| 171日向坂跡 | 南跡 | 波町 | 紅葉谷 丸物、茶器、花器 |
| 172日向室跡 | 南跡 | 波町 | |
| 173日向室跡 | 南跡 | 浅井 | 瓦 |
| 174森山室跡 | 南跡 | 浅井 | 瓦 |
| 175水戸室跡 | 南跡 | 熱田 | 人影(初期長圓人形) |
| 176(よし)寺室跡 | 南跡 | 熱田 | 丸物 |
| 177森山室跡 | 南跡 | 熱田 | 丸物、すり鉢 |
| 178森山分家室跡 | 南跡 | 熱田 | 丸物、すり鉢 |
| 179原田領跡 | 南跡 | 熱田 | 丸物、すり鉢 |
| 180村山室跡 | 南跡 | 福井 | 丸物、すり鉢 |
| 181今井室跡 | 南跡 | 熱田 | 瓦 |
| 182小畠室跡 | 南跡 | 熱田 | 瓦 |
| 183柳谷室跡 | 南跡 | 日御 | |
| 184大川室跡 | 南跡 | 日御 | 瓦窯 |
| 185守野室跡 | 南跡 | 内田 | すり鉢 |
| 186岸本室跡 | 南跡 | 内田 | 瓦 |
| 187内田室跡 | 南跡 | 内田 | すり鉢 |
| 188佐久木室跡 | 南跡 | 長浜 | すり鉢 |
| 189大田室跡 | 南跡 | 周布 | 瓦窯 |
| 190岡田室跡 | 南跡 | 長見 | 丸物 |
| 191村山室跡 | 南跡 | 長見 | 瓦 |
| 192(舟)八反原室跡 | 南跡 | 上府 | 土器 |
| 193(舟)木室跡 | 南跡 | 上府 | 土器 |
| 194小山城跡 | 城跡 | 後野 | |
| 195正尾寄山城跡 | 城跡 | 後野 | |
| 196古城跡 | 城跡 | 三輪 | |
| 197三重古跡 | 城跡 | 細畠 | 鉢、壓切 |
| 198生瀬室跡 | 南跡 | 生瀬 | 瓦、丸物 |
| 199坂山西遺跡 | 敷布施 | 西村 大谷下 | 磨製石斧片 |
| 200舟(1)室跡 | 敷布施 | 西村 大谷下 | 土器 |
| 201原野城跡 | 経塙 | 西村 | 壁 |
| 202舟(1)古墓 | 古墓 | 西村 大谷下 | 五輪塔 |
| 203(舟)古道跡 | 敷布施 | 治和 三毛辻 | 須恵器片 |
| 204治和遺跡 | 敷布施 | 治和 | 須恵器片 |
| 205引地尾原跡 | 南跡 | 須摩 | 瓦、頭部初期 |
| 206高野山下遺跡 | 敷布施 | 周布 | 須恵器片 |
| 207千手山古墓 | 古墓 | 内村 | 宝鏡印第3基 |
| 208筑城跡 | 城跡 | 黒川 漢 | 山城 |
| 209多摩古道跡 | 敷布施 | 生湯 | 須恵器、土器、瓦 |
| 210古道遺跡 | 築路跡 | 上府 古市 | 須恵器、土器、陶器、木器 |
| 211新堀跡 | 敷布施 | 上府 新延 | 須恵器 |
| 212(舟)室跡 | 南跡 | 上府 魁相 | 丸物、瓦 |
| 213中原田古墓 | 古墓 | 上府 魁相 | |
| 214(舟)下古墓 | 古墓 | 下有福 | 宝鏡印第 |
| 215山根古墓 | 古墓 | 下有福 | 五輪塔、宝鏡印第 |
| 216(舟)原堀城跡 | 城跡 | 上府 三重谷 | 山城 |
| 217雲城城跡 | 城跡 | 長見 | |
| 218所川城跡 | 城跡 | 利村 | 山城 |
| 219舟(市)京路 | 南跡 | 久代 | N64と同じ |
| 220前原紙漉遺跡 | 敷布施 | 國分 | 瓦、土器、須恵器、胸器器 |
| 221大川道跡 | 敷布施 | 下附 | 須恵器、土器、陶器、胸器器 |
| 222橋野跡 | 築路跡 | 下附 | 土器、陶器器、須恵器、瓦 |
| 223長崎山城跡 | 南跡 | 上附 | 陶器、瓦、古鉄 |
| 224大船山神社跡 | 神社跡 | 上附 | 石祠、加工段、占道 |
| 225水戸神社跡 | 敷布施 | 上附 | 土坑 |
| 226立女古跡 | 築路跡 | 下附 | 須恵器、土器器、陶器器 |
| 227(舟)道跡 | 築路跡 | 下附 | 土器器、須恵器、石做 |
| 228浜伊良道跡 | 敷布施 | 長沢 | 須恵器、須恵器、石做 |

| | | | | | |
|-----|---------|------|-----|----------|------------------|
| 239 | 高島追道路 | 敷布施 | 高佐 | 燒製石斧、須惠器 | |
| 240 | 山陰道 | 街道路 | | 近世街道跡 | |
| 241 | 浜川鳥街道 | 街道路 | | 近世街道跡 | |
| 242 | 浜田三次往還 | 街道路 | | 近世街道跡 | |
| 243 | 鴨谷駿道 | その他 | 河内 | 石發道 | 一部发掘調査 |
| 244 | 中村原道路 | その他 | 宇津井 | 土壠 | 発掘調査・消滅 |
| 245 | 鶴久原跡 | 空跡 | 酒町 | 動木 | 江戸末～、廃跡 3基 |
| 246 | 大日見釣跡 | 製鉄道路 | 見見 | | |
| 247 | 大日追跡 | 敷布施 | 下府 | 上ノ浜 | 弥生土器、須惠器、土師器 |
| 248 | 夷道跡 | 敷布施 | 上府 | 東 | 須惠器 |
| 249 | 寺ノキ古墓 | 古墓 | 宇野 | 河南 | 石積基礎、宝鏡印塔 |
| 250 | 梅ノ木古墓 | 古墓 | 宇野 | 森原 | 石積基礎、宝鏡印塔 |
| 251 | 原土居追跡 | 敷布施 | 下有福 | | 須惠器、土師器 |
| 252 | 秋ノ原道路 | 敷布施 | 下府 | 清水 | 須惠器、土師器 |
| 253 | 井坂古墓 | 古墓 | 上府 | 子代松 | 宝鏡印塔 2基 |
| 254 | 住吉古墓 | 古墓 | 上府 | 十代松 | 宝鏡印塔 |
| 255 | 両木古墓 | 古墓 | 河内 | | 五輪塔、宝鏡印塔 |
| 256 | 吉魚古墓 | 古墓 | 吉地 | | 五輪塔、宝鏡印塔 |
| 257 | 渡瀬室跡 | 窓跡 | 長浜 | | 瓦、昭和 |
| 258 | 寺本屋跡 | 築造跡 | 周布 | | 須惠器、土師器、陶磁器 |
| 259 | 西別敷道路 | 築造跡 | 周布 | | 土師器、陶磁器 |
| 260 | ツナメ道路 | 敷布施 | 周布 | | 弥生土器、須惠器、土師器、陶磁器 |
| 261 | 片谷々平追跡 | 築造跡 | 熱田 | | |
| 262 | 神田平追跡 | 古墳 | 熱田 | | |
| 263 | 松久追跡 | 古墳 | 熱田 | | |
| 264 | 川原追跡 | 築造跡 | 德出 | | |
| 265 | 渡瀬サコ道路 | 築造跡 | 吉地 | | |
| 266 | ラク岬追跡 | 築造跡 | 西村 | | |
| 267 | 恋ヶ岬追跡 | 祭祀道路 | 西村 | | |
| 268 | 新井丁追跡 | 祭祀道路 | 西村 | | |
| 269 | 新井丁道路 | 古墳 | 西村 | | |
| 270 | 平若追跡 | 祭祀道路 | 西村 | | |
| 271 | 城ノ治道路 | 城跡 | 折居 | | |
| 272 | カモト道路 | 城跡 | 折居 | | |
| 273 | 折居谷道路 | 古墳 | 折居 | | |
| 274 | 力石追跡 | 築造跡 | 西村 | | |
| 275 | 日野東道路 | 敷布施 | 日野 | | |
| 276 | 多弓寺古墓群 | 古墓 | 生湯 | 五輪塔、宝鏡印塔 | |
| 277 | 丁居ノ前道路 | 敷布施 | 有福 | | 弥生土器、土師器、須惠器 |
| 278 | 國分川河原道路 | 敷布施 | 治和 | | 彷彿鏡、打製石斧、磨製石斧 |
| 279 | 金剛寺道路 | 敷布施 | 国分 | | 須惠器 |
| 280 | 國分尼寺南道路 | 敷布施 | 国分 | | 須惠器 |
| 271 | 國分尼寺北道路 | 敷布施 | 国分 | | 須惠器 |
| 272 | 國分尼寺西道路 | 敷布施 | 国分 | | 瓦、須惠器 |
| 273 | 谷分道路 | 敷布施 | 国分 | | 須惠器 |

浜田市内指定文化財一覧（地図番号は浜田自治区）

| 地区 番号 | 通路 番号 | 区分 | 指定年月日 | 名 称 | 所在地 | 所有者・保持者 |
|------------|----------|---------|------------|----------------|---|---------------|
| 【国指定文化財】 | | | | | | |
| | 1 | 影刻 | 大 9. 4.15 | 木造阿弥陀如来立像 | 松原町 | 心院院 |
| | 2 | 工芸技術 | 昭 44. 4.15 | 石州半紙 | 三瀬町古市場 | 石州半紙技術者会 |
| | 3 | 有形民俗文化財 | 昭 46.12.15 | 渡佐の山村生産用具 | 金城町波佐 | 西中國山地民具を守る会 |
| 国史 1 | L6 | 4 史跡 | 大 10. 3. 3 | 石見国分寺跡 | 国分町 402-4 (道) | 金藏寺 |
| | | | | | 1524-1.12.26 1527.12.27 終 L1528-1. | |
| | | | | | 1526-2.15.28-4.15.30.1531.1534-1. | |
| | | | | | 1534-2.15.48-1 | |
| 国史 2 | L49 | 5 史跡 | 昭 11.12.6 | 鹿布古墳 | 治和町口 1009-1 | 個人 |
| 国史 3 | L13 | 6 史跡 | 昭 12. 6.15 | 下府魔寺跡 | 下府町 632-4 | 浜田市 |
| | | | | | 国分町 | |
| | | | | | 1187-1.11.19 1.11.1982-1.11.1982-1983.19 | |
| | | | | | 84.1985-1.11.985-2.1986.1987.1988.1 | |
| | | | | | 989-1.11.989-2.11.989-3.11.989-4.22.07-1 | |
| | | | | | 22.07-2.22.08. 22.09-1.22.09-2.22.09-3.2 | |
| | | | | | 209-1.22.10-4.22.10-2.22.10-3.2.22.10-4.2 | |
| | | | | | 10.12.22.10-4.22.10-7.22.10-8.22.10-9.22 | |
| | | | | | 10-10.22.10-11. 22.10-12.22.10-13 | |
| | 8 | 天然記念物 | 昭 10. 4.11 | 三隅大平板 | 三隅町矢原 | 個人 |
| 【鳥取県指定文化財】 | | | | | | |
| | 9 | 絵画 | 昭 47. 7.28 | 絵本墨画淡彩妙峰山綠起 | 三隅町室谷 | 大麻山神社 |
| | 10 | 影刻 | 昭 37. 6.12 | 木造阿彌陀如來立像 | 三隅町三隅 | 正法寺 |
| | 11 | 影刻 | 昭 42. 5.24 | 木造天部像群 | 生湯町 | 多陀寺 |
| | 12 | 影刻 | 昭 43. 6. 7 | 木造藥師如意輪像 | 三隅町三隅 | 正法寺 |
| | 13 | 貴賤 | 昭 37. 6.12 | 木製墨書き松若狭 | 三隅町音谷 | 御靈寺 |
| | 14 | 古文書 | 平 12. 3.28 | 紙本墨書き足利松園 | 里町 | 浜田市浜田郷土資料館 |
| | 15 | 考古資料 | 昭 25. 9.28 | めんくろ古墳出土品 | 治和町 | 個人 |
| | 16 | 有形民俗文化財 | 昭 47. 7.28 | 渡佐の山村生活用具 | 金城町波佐 | 西中國山地民具を守る会 |
| | 17 | 無形民俗文化財 | 昭 37. 6.12 | 丹井野神楽 | 三隅町井野 | 丹井野神楽保持者会 |
| | 18 | 無形民俗文化財 | 昭 39. 5.26 | 有福神樂 | 下有福町 | 有福神樂保持者会 |
| | 19 | 無形民俗文化財 | 昭 40. 4. 1 | 黒沢囃子田 | 三隅町黒沢 | 黒沢囃子田保存会 |
| 県史 1 | L7 | 20 史跡 | 昭 33. 8. 1 | 石見国分寺跡 | 国分町 216.217.225.5.1.898-1.1898-3 | 国分寺 |
| 県史 2 | L27 | 21 史跡 | 昭 37. 6.12 | 浜田城跡 | 123-1.1123-6.123-10.131-11.131-4 | 浜田市 |
| 県史 3 | L5 | 22 史跡 | 昭 42. 5.30 | 石見国分寺瓦廻跡 | 国分町 408-1 | 浜田市 |
| 縣大 1 | 23 | 天然記念物 | 昭 41. 5.31 | 黃鉄石硫化玄武岩 | 長浜町 276-1 | 個人 |
| | | | | | 熱田町 1319-1 | |
| | | | | | 内田町 625 内 1 | |
| | 24 | 天然記念物 | 昭 47. 3.31 | 紫鶯山の杉 | 金城町波佐 | 八幡宮(波佐常盤山八幡宮) |
| | 25 | 天然記念物 | 昭 47. 3.31 | 安長本邦の八幡宮並木杉 | 赤堀町長安本邦 | 八幡宮(長安八幡宮) |
| 【浜田市指定文化財】 | | | | | | |
| | 26 | 絵画 | 昭 44.11. 3 | 板絵茅色瀬戸口鳥越鶴岡 | 瀬戸口鳥越 | 紙鳥神社 |
| | 27 | 絵画 | 昭 48. 5. 1 | 絵本茅色口鳥越瀬戸 | 水木町 | 河原寺 |
| | 28 | 絵画 | 昭 48. 5. 1 | 本著色弘法聖団 | 尾布町 | 淨洲寺 |
| | 29 | 絵画 | 昭 48. 5. 1 | 「無題」森島忠策油絵麻布 | 里町 | 浜田高等学校同窓会 |
| | 30 | 絵画 | 昭 48. 5. 1 | 「無題」小林萬吉油絵油彩麻布 | 野屋町 | 浜田市世界ごとも美術館 |
| | 31 | 絵画 | 昭 56. 3.28 | 「空舟筆」一舟瀬輪 | 三隅町瀬谷 | 龍雲寺 |
| | 32 | 絵画 | 平 14. 2.22 | 紙本著色弘法聖団 | 田町 | 龍氣寺 |
| | 33 | 絵画 | 平 14. 2.22 | 船院馬 | 瀬戸口鳥越 | 紙鳥神社 |
| | 34 | 影刻 | 昭 51. 3.25 | 木造北白川彦神久親王殿下立像 | 里町 | 浜田市浜田郷土資料館 |
| | 35 | 影刻 | 平 7. 3.25 | 木造阿彌陀如來坐像 | 三隅町芦谷 | 龍雲寺 |
| | 36 | 影刻 | 平 7. 3.25 | 木造阿彌陀如來立像 | 三隅町瀬浦 | 極樂寺 |
| | 37 | 工芸品 | 昭 44.11. 3 | 彌差 | 久代町 | 石見安達美術館 |
| | 38 | 工芸品 | 昭 44.11. 3 | 太刀 | 久代町 | 石見安達美術館 |
| | 39 | 工芸品 | 昭 48. 5. 1 | 太刀 | 明町 | 浜田護國神社 |
| | 40 | 工芸品 | 昭 51. 3.25 | 刀 四口 | 久代町 | 石見安達美術館 |
| | 41 | 工芸品 | 昭 56. 3.28 | 古和三尊 | 三隅町上古和 | 個人 |
| | 42 | 工芸品 | 平 14. 2.22 | 船柄模型 | 瀬戸口鳥越 | 紙鳥神社 |
| | 43 | 工芸品 | 平 14. 2.22 | 藤末精耕製漆器二枚組足桶匙附 | 野原町 | 世界ごとも美術館 |
| | 44 | 貴賤 | 昭 48. 5. 1 | 木製墨書き松若狭 | 大庄村 | 宝福寺 |
| | 45 | 貴賤 | 昭 56. 3.28 | 紙本金墨書き経 | 三隅町音谷 | 龍雲寺 |
| | 46 | 典籍 | 昭 44.11. 3 | 紙本墨書き井伊宗堯著書 | 治和町 | 個人 |
| | 47 | 古文書 | 昭 56. 3.28 | 吉田場古文書 | 三隅町羽見 | 三隅宮神社 |
| | 48 | 古文書 | 昭 56. 3.28 | 吉田神社古文書 | 三隅町三隅 | 三隅宮神社 |
| | 49 | 古文書 | 平 7. 3.28 | 瀬田町有名帳 | 外ノ瀬町 | 個人 |
| | 50 | 古文書 | 平 9. 7.31 | 吉見村豪傑繪 | 高佐町 | 個人 |
| | 51 | 古文書 | 平 9. 7.31 | 浜田城「町」鳥越鶴岡 | 高佐町 | 個人 |
| | 52 | 古文書 | 平 9. 7.31 | 浜田城「町」方松園 | 斎子町 | 個人 |
| | 53 | 古文書 | 平 9. 7.31 | 吉所謹示浜浦海岸絵 | 外ノ瀬町 | 個人 |
| | 54 | 古文書 | 平 14. 2.22 | 瀬田町有名帳 | 外ノ瀬町 | 個人 |
| | 55 | 古文書 | 平 14. 2.22 | 紙本墨書き神台本 | 周布町 | 個人 |
| | 56 | 考古資料 | 昭 58.12.26 | 金田 1 口噴出品 | 金城町金田 | 浜田市 |
| | 57 | 考古資料 | 平 7. 3.28 | 鶴石道跡出土品 | 浜田市浜田郷土資料館 | 浜田市 |
| | 58 | 考古資料 | 平 7. 3.28 | 銅造迦陵頻陀立像 | 浜田市浜田郷土資料館 | 浜田市 |
| | 59 | 歴史資料 | 平 9. 7.11 | 石見国天保國經図紙改切絵図 | 浜田市浜田郷土資料館 | 浜田市 |
| | 60 | 有形民俗文化財 | 昭 48. 5. 1 | 獅子頭 | 片原町 | 個人 |
| | 61 | 有形民俗文化財 | 昭 48. 5. 1 | 獅子頭 | 日御町 | 大上岡八幡宮 |

基础与应用

| | | | | | |
|------|----|---------|-------------------------------------|----------|-----|
| 国登 1 | 87 | 甲 9.5.7 | 浜田市立第一中学校屋内運動場 (由田公民館第一・二階屋上施設) | 黒川町 3745 | 浜田市 |
| 国登 2 | 88 | 甲 9.5.7 | 鳥取県立浜田高等学校第一体育館 (鳥取県立浜田高等学校屋上施設) | 黒川町 3749 | 鳥取県 |

主要参考文献（重複文献は一部省略して記載）

全般

中尾典史 1933『周布村郷土史』

島根県那賀郡周布村尋常高等小学校 1937『周布村郷土誌』

浜田市役所 1950『浜田』

国府町文化財審議会 1963『国府町の文化財』

川原和人 1970『浜田高校所蔵土器』『石西の須恵器』

浜田市 1973『浜田市誌』上巻・下巻

浜田市教育委員会 1977『浜田の文化財』

藤岡大拙他編 1980『日本城郭大系』第14巻 烏取・島根・山口 新人物往来社

山陰中央新報社 1981『鳥根県大百科事典』上巻・下巻

島根県教育委員会 1986『鳥根県生産道路分布調査報告書』

島根県教育委員会 1987『鳥根県製鉄道路分布調査報告書』

吉田秀樹 1991『日本地名辞典』新人物往来社

平凡社 1995『日本歴史地名大系第三三卷 鳥根県の地名』

島根県教育委員会 1997『島根県中近世城館分布調査報告書』<第1集>石見の城館跡

井上寛司 2001『中世の港町・浜田』浜田市教育委員会

島根県教育委員会 2002『島根県遺跡地図Ⅱ(石見編)』

浜田市教育委員会 2002 a『浜田の文化財』

浜田市教育委員会 2002 b

『浜田市遺跡詳細分布調査－国府地区I－』

浜田市教育委員会 2007『浜田市遺跡詳細分布調査－周布地区I－』

浜田市教育委員会 2008 a

『史跡 周布古墳・歳成宅後古墳・市史跡 金田1号墳』

L1.54 脚石遺跡

前島己基 1973『浜田市脚石遺跡』『季刊文化財』22号

島根県文化財愛護協会

柳原博英 1996『脚石遺跡について』『亀山』第23号

浜田市文化財愛護会

柳原博英 1999『島根県脚石遺跡出土の大陸系磨製石器類について』『田中義昭先生追官記念文集 地域に根ざして』田中義昭先生追官記念事業会

柳原博英 2005『浜田市脚石遺跡出土遺物－弥生前期土器を中心として』『古代文化研究』第13号 鳥根県古代文化センター

柳原博英 2009『浜田市内の弥生遺跡紹介』

『ここまで掘った! 石見の弥生ムラ』

島根県埋蔵文化財調査センター

L1.22 上条遺跡

直良信夫 1932『石見上条村発見銅鐸の出土状態』

『考古学雑誌22-2』の直良信夫 1991『近畿古代文化論考』木耳社に再録

東京国立博物館 1981

『東京国立博物館版目録弥生遺物篇(金属器)』

島根県教育委員会・朝日新聞社 1997

『古代出雲文化展－神々の国悠久の遺産－』

島根県教育委員会 2001『上条遺跡』

『忠良遺跡 堂々遺跡 上条遺跡』

水戸（三河）津社跡〔上条古墳〕 立女遺跡

一般国道9号線江津道路建設予定地内

埋蔵文化財発掘調査報告書IV』

L1.49 周布古墳

島根県教育委員会 1963『島根の文化財』第三集

島根県教育委員会 1985

内田律雄・曳野律平・松本岩雄・渡辺貞幸 1991『島根県』

『前方後円墳集成』中国四国編 山川出版社

大谷晃二 1993『周布古墳の測量調査はじまる』『石見考古学研修会』創刊号 石見考古学研修会

浜田高校歴史部・大谷晃二 1995『浜田市周布古墳測量調査報告書』上巻『島根考古学会誌』第12集 島根考古学会

柳原博英 2004『周布古墳の埴丘調査』(島根県浜田市)『島根考古学会誌』第20・21集合併号 島根考古学会

本庄考古学研究室 2005『石見・隠岐的主要古墳一覧』『島根考古学会誌』第22集 島根考古学会

浜田市教育委員会 2008 a

L1.50 めんぐろ古墳

山本清 1957『浜田市めんぐろ古墳出土遺物について』『島根大学論集(人文科学)』第7号』のち、山本清 1971『山陰古墳文化の研究』山本清先生追官記念論集刊行会に再録

土生田純之 1980「突起をもつ横穴式石室の系譜」『考古学雑誌』66-3

島根県教育委員会 1985

川原和人 1985『浜田市めんぐろ古墳出土の須恵器について』『島根考古学会誌』第2集 島根考古学会

浜田高校歴史部・大谷晃二 1995

角田徳幸 1997『島根県の横穴式石室』『芸備 第26集』芸備友の会

島根県古代文化センター 2009(予)『めんぐろ古墳の研究』

L1.10 片山古墳

W・ガウランド 1899『日本古墳文化論』

渡辺貞幸 1979・1988『ガウランド氏と山陰の古墳』

『八雲立つ風土記の丘』N637, 39, 40]

大谷晃二 1993『片山古墳測量調査報告』

『下府庵寺跡』1993 浜田市教育委員会

L1.13 下府庵寺跡

島根県教育委員会 1980『石見国府推定地調査報告書』

佐々木底三郎 1981『下府庵寺塔跡の宝塔碑文について』

『亀山』第8号 浜田市文化財愛護会

前島己基 1986『山陰における初期造寺活動の一侧面』

山本清先生喜寿記念論集『山陰考古学の諸問題』

同記念論集刊行会

浜田市教育委員会 1990『下府庵寺跡発掘調査概報』

浜田市教育委員会 1992『下府庵寺跡』

浜田市教育委員会 1993『下府庵寺跡』

石見国府推定地

国府推定地については諸説あり、主なものを記す。

野津左馬之助 1925『島根県史』第5巻 島根県内務部

野津左馬之助 1934『石見國府址』

- 『鳥根縣史跡名勝天然紀念物調査報告』第6輯
島根縣
斎藤茂吉 1935 「柿本人麻呂と鶴山」
丸茂武重 「山陰道の國府」『国学院雑誌』63・2・3 国學院大學
矢富熊一郎 1964 「柿本人麻呂と鶴山」
益田郷土史矢富会
山本清 1968 「第四節律令制度の時代」
『新修鳥根県史』通史編一 島根県
国府町文化財審議会 1963 「国府町の文化財」
大島幾太郎 1970 「那賀郡史」旧那賀郡教育会
藤岡謙二 1969 「国府」吉川弘文館
山本清 1972 「第四章古代(二)」仁摩町誌 仁摩町
島根県教育委員会 1978 「石見国府推定地調査報告Ⅰ」
島根県教育委員会 1979 「石見国府推定地調査報告Ⅱ」
島根県教育委員会 1980 「石見国府推定地調査報告Ⅲ」
石井慈 1980 「石見国府跡を推測する」
「石見国府跡発掘調査から」
『季刊文化財』第38号 島根県文化財愛護協会
石井慈 1982 「諱の石見国府」
『えとのす第17号』新日本歴史出版
国立歴史民族博物館 1986 「国立歴史民俗博物館研究報告第10集 共同研究『古代の国府の研究』」
石井慈 1986 「古代石見国の役所跡について」
山本清先生喜寿記念論集「山陰考古学の諸問題」
同記念論集刊行会
梨田精 1987 「幻の石見国府跡と郡分寺」
『亀山第14号』浜田市文化財愛護会
国立歴史民族博物館 1989 「国立歴史民俗博物館研究報告 第20集 共同研究『古代の国府の研究』(続)」
見島俊平 1992 「馬の骨を探る」「郷土石見」No.31
石見郷土研究懇話会
桑原船一 1995 「伊賀郡の歴史的背景」
『伊賀土地区画整理事業に伴う古市遺跡発掘調査概報』浜田市教育委員会
石井慈 1996 「石見国」「国府一畿内・七道の様相」
日本考古学協会三重県実行委員会
宮本巖 1996 「人蔵・文献考」「郷土石見」No.41号 石見郷土研究懇話会
- L6 石見国分寺跡・L7 石見国分尼寺跡・L5 石見国分寺瓦窯跡**
- 朝枝實賢 1919 「金藏寺由緒記」
野津左馬之助 1925 「鳥根縣史」第5卷 島根縣内務部
野津左馬之助 1938 「石見国分寺」「国分寺の研究」下
考古学研究会
国府町文化財審議会 1963 「国府町の文化財」
近藤正 1967 「古代・中世における手工業の発達
(6) 山陰」
『日本の考古学VI』歴史時代(上) 河出書房新社
山本清 1968 「第四節律令制度の時代」
『新修鳥根県史』通史編一 島根県
大川清 1972 「日本の古代瓦窯」
桑原船一 1986 「金藏寺境内(石見国分寺址) 発掘にいたずさわって」「郷土石見」No.17 石見郷土研究懇話会
前島己基 1986 「山陰における初期造寺活動の一侧面」
内田律雄 1986 「石見国分寺瓦窯について」
山本清先生喜寿記念論集「山陰考古学の諸問題」
同記念論集刊行会
内田律雄 1986 「石見国分寺瓦窯跡」「島根県生産遺跡分布調査報告書」島根県教育委員会
浜田市教育委員会 1987 「石見国分寺跡発掘調査概報」
『季刊文化財』第38号 島根県文化財愛護協会
浜田市教育委員会 1987 「石見国分寺跡第1期調査概報」
原裕司 1990 「石見国分寺と誕生仏」
『亀山第17号』浜田市文化財愛護会
島根県立博物館 1990 「島根の文化財・仏像彌刻篇」
内田律雄・江川幸子 1997 「石見」
『新修 国分寺の研究』第7巻 補遺 吉川弘文館
浜田市教育委員会 2006 「史跡 石見国分寺跡・県史跡 石見国分尼寺跡」
関和彦 2008 「古代邇摩の世界と国分寺霊應神社」「郷土石見」No.79 石見郷土研究懇話会
- 中世周布氏**
- 山根俊久 1978 「朝鮮貿易の先駆」「石見の郷土史話」下巻 石見郷土研究懇話会
井上寛司 1982 「貞応二年石見国惣田数注文の基礎的研究」「山陰史談」18 山陰歴史研究会
浜田高校歴史部 1983 「歴像 復刊第7号 特集 石見の山城について(その2)」
廣田八徳 1985 「西石見の豪族と山城」
松村 建 1988 「中世後期の村落と土塁」「山陰史談」23 山陰歴史研究会
関周一 1990 「十五世紀における山陰地域と朝鮮の交流—石見国周布氏の朝鮮通交を事例として—」「史鏡」第20号 歴史人類学会
和田秀作 1993 「陶史のクーデターと石見国人周布氏の動向」「周布家文書」の紹介」「山口県地方史研究」第70号
関周一 1994 「中世山陰地域と朝鮮の交流」「山陰地域における日朝交流の歴史的展開」報光社
岸田裕之 1995 「人沙汰」補考—長州藩編纂事業と現代修史小考一」「山口県史研究」三
益田市立雪舟の郷記念館 1998 「中世益田氏関係文書特別展—陶隆房のクーデターと益田藤兼」
藤川誠 1999 「石見国周布氏の朝鮮通交と偽使問題」「史学研究」226号 广島史学研究会
井上寛司 2001 「中世の港町・浜田一港湾都市浜田の成立と日本海水運に果たした役割」—浜田市教育委員会
関周一 2002 「第四章 山陰地域と朝鮮の交流」「中世日朝海城史の研究」吉川弘文館
関周一 2005 「中世における日本海漂流民」「歴史と地理」第582号 山川出版社
藤川誠 2003 「周布氏の朝鮮通交」再考—中世日朝交流史の実像と石見国はまだ市民大学講座資料
井上寛司 2006 「安富家文書の語るもの」浜田市教育委員会
浜田市教育委員会 2007 「浜田市遺跡詳細分布調査—周布地区I—I」
久留島典子 2008 「新出周布文書の紹介と考察」「大規模武家文書群による中・近世史料学の総合的研究—萩原家老益田家文書を素材に—」

L43 鳥取城跡

藤岡大拙他編 1980

寺井毅 1991 「石見福屋氏の桜尾城・松山城・波佐一本松城跡の歴史と発掘についての考察」『鳥根考古学会誌』第8集・鳥根考古学会

鳥根県教育委員会 1997

浜田市教育委員会 2007

L27 浜田城・浜田城庭園関係

浜田会 1892 「浜田城地図録」『浜田会誌 第貳號』(1892)・
『浜田会誌 第三號』

藤井宗雄 1899 「浜田城」 安達共栄堂

大島幾太郎 1935 「浜田町史」一誠社

田村桂一 1975 「城 石見浜田城」 関西城郭研究会

藤岡大拙他編 1980 「日本城郭体系 第14巻 鳥取・鳥根・山口」 新人物往来社

内藤正中編 1983 「山陰の城下町」 山陰中央新報社

矢守一彦 1988 「城下町のかたち」 築摩書房

谷口昭 1992 「軒封考 資料編」『名城法學 第四一卷 第三号』名城大学法学会

三浦正幸 1992 「浜田城」「復元体系 日本の城 6 中国」
ぎょうせい

鳥根県教育委員会 1997 「1 15 浜田城跡」

「鳥根県中近世城館分布調査報告書 <第1集> 石見の城
館跡」

岩崎健 1998 「浜田城」『Nice To Meet You VOL.153
ladies まだす

浜田市教育委員会 1999 「松平周防守家の成立と浜田」
浜田市世界どこも美術館

浜田市教育委員会 1993 「浜田城跡発掘調査概報」

『亀山』第20号 浜田市文化財愛護会

三浦正幸 1999 「城の鑑賞基礎知識」至文道

藤田亨 2001 「浜田城址公園について」

「文化財愛護会 平成13年4月例会 発表資料」

原裕司 2001 「浜田城調査について～中間報告として～」
『シンボジウム 浜田城を語る』浜田市文化財愛護会・山
陰中央新報社

浜田市教育委員会 2002

中井均 2004 「浜田城」『歴史群像シリーズ よみがえる
日本の城 6 』学習研究社

浜田市教育委員会 2005 「浜田城」パンフレット

白峰旬 2006 「天保7年の石見国浜田城引き渡しについて」
『別府大学学院紀要 第8号』別府大学大学院文学研究科

浜田市教育委員会 2007 「浜田城跡（庭園跡の調査 1）」

浜田市教育委員会 2007 「東宮殿下浜田御旅館 御便殿」
パンフレット

浜田市教育委員会 2007 「浜田城跡（庭園跡の調査 2）」

石見焼関係 (L198,L235,L223,L192,L185,L179など)

浜田市 1953 「浜田の窯業」浜田市商工水産課

平田正典 1979 「石見粗陶器史考」石見地方史研究会

熱田貴保 1993 「石見地方における近世の窯業生産」『八
雲立つ風土記の丘No.122・123』鳥根県立八雲立つ風土記
の丘

原 裕司 1993 「生湯窯跡」『八雲立つ風土記の丘No.122
・123』鳥根県立八雲立つ風土記の丘

三沢治雄 1998 「勘木窯の物語を探る」史跡探訪会

東森一晋 1999 「石見焼窯跡の発掘調査」『平成11年度

鳥根県埋蔵文化財調査センター講演会資料』

鳥根県教育委員会 2001 「石見焼窯跡調査報告1」(飯
田A 遺跡・長東坊師窯跡) 一般国道9号線江津道路建設
予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書】

鳥根県教育委員会 2001 「石見焼窯跡調査報告2 上
府八反原窯跡(佐々木窯跡) 一般国道9号線江津道路建設
予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書VII】

浜田市教育委員会 2005 「平野窯跡」

浜田市教育委員会 2006 「室田窯跡」

各道路関係

L41 日脚遺跡・L45 沢田寺山古墳

鳥根県教育委員会 1985

周布川河原出土銅鏡

川原和人 1986 「周布川河原出土銅鏡」『弥生時代の青銅
器とその共伴関係』埋蔵文化財研究会

L38 鈴居古墳

肥後敏雄 1995 「鈴居古墳について」『ひのあし』第27
号 ひのあし会

L53 森ヶ曾根古墳

浜田市教育委員会 1986 「周布川小建設予定地内埋蔵文化
財(森ヶ曾根古墳) 発掘調査報告書」

定森秀夫 1989 「日本出土の“高雲タイプ”系陶質土器
(1) - 日本国における朝鮮半島系遺物の研究 -」『京都文
化博物館研究紀要 朱雀』第2集

白井克也 2003 「日本における高雲地域加耶土器の出土
類型」『熊本古墳研究創刊号』熊本古墳研究会

1998年10月16日付毎日新聞「浜田の須恵器 朝鮮の
工人、鳥根で製造? 韓国学者が渡米説否定」

L52 廃地宅後古墳

内田律雄 1984 「出雲刈山4号墳と搬入須恵器」『ふいー
るど。のーと』No.6 本庄考古学研究室

鳥根県教育委員会 1985 「浜田高校歴史部・大谷晃二

1995

浜田市教育委員会 2008 a・浜田市教育委員会 2008 b 「廢
地宅後古墳」

L42 塚原山古墳群

浜田市教育委員会 1977

L204 沿田道路

柳浦俊一 1993 「鳥根・鳥取県出土子持壺集成」『鳥根考
古学会誌』第10集 鳥根考古学会

L39 日脚下浦遺跡

川原和人 1978 「石見における古式須恵器」『松江考古』
第2集 松江考古学談話会・鳥根県教育委員会 1985

L248 寺本道路・L249 市屋敷道路・L250 ナメ道路

浜田市教育委員会 2007

L.33 道休畠遺跡

東森晋 2004 「道休畠遺跡の堅穴住居跡」『八雲立つ風土記の丘』No.178 烏根県立八雲立つ風土記の丘
島根県教育厅埋蔵文化財センター 2008 「石見路の言伝」

L.222 横路遺跡（土器土地区・原井ヶ市地区）

浜田市教育委员会 1997 「横路遺跡（土器土地区）」
浜田市教育委员会 1998 「横路遺跡（原井ヶ市地区）」
柳原博美 1998 「鳥根県古市遺跡・横路遺跡と出土陶磁」『貿易陶磁研究』No.18 日本貿易陶磁研究会
浜田市教育委员会 2002 b

L.19 篠山城跡

島根県教育委员会 1980 「石見国府推定地調査報告Ⅲ」

L.15 川向遺跡

浜田市 1973・浜田市教育委员会 2000 「川向遺跡」
浜田市教育委员会 2002 b

L.14 伊賀神社脇遺跡

島根県教育委员会 1979・浜田市教育委员会 2000

L.209 多陀寺道路・L.211 新延道路・L.238 東道路・L.221 大平道路・L.220 前場紙漉道路・L.228 茅蒲追道路・L.242 秋ヶ平道路・L.237 千足道路・L.227 仕切道路・L.11 半場口古墳群

浜田市教育委员会 2002 b

L.210 古市道路

浜田市教育委员会 1992 「古市道路発掘調査概報」
原裕司 1992 「浜田市・古市道路の遺物」
『松江考古』第8号 松江考古学談話会
浜田市教育委员会 1995
「伊賀土地区画整理事業に伴う古市道路発掘調査概報」
柳原博美 1998
柳原博美 2001
「浜田・古市道路における中世前半の土器について」
『松江考古』第9号 松江考古学談話会

L.24 宮宅山道路

島根県教育委员会 1980 「石見国府推定地調査報告Ⅲ」
浜田市教育委员会 2002 b

L.23 上府道路

島根県教育委员会 1980 「石見国府推定地調査報告Ⅲ」
石井悠 1992
「浜田市・石見国府跡推定地出土の中国製陶磁器」
『松江考古』第8号 松江考古学談話会

L.216 八反原城跡

桑原彰 1995 「中世の宇野村をさぐる－小字名は歴史を語る－」『亀山』第22号 浜田市文化財愛護会
浜田市教育委员会 2002 b

L.8 奈古田窯跡

川原和人 1980 「石見の須恵器窯跡」
『さんいん古代史の周辺（下）』山陰中央新報社
浜田市教育委员会 2006

L.1 大浜浜遺跡・L.57 越境遺跡

江津市教育委员会・浜田市教育委员会 1988
「大平山遺跡群調査報告書」
江津市教育委员会・浜田市教育委员会 1990
「大平山遺跡群発掘調査報告書」

L.228 浜伊場遺跡・L.234 中川原遺跡

日本道路公团広島建設局・島根県教育委员会 1985
「浜伊場遺跡」「中國横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ」

近世街道関係（L.230,L.231,L.232）

島根県教育委员会 1997 「歴史の道調査報告書 山陰道Ⅲ」島根県歴史の道調査報告書第五集
島根県教育委员会 1999 「歴史の道調査報告書 浜田広島街道・浜田三次往還」島根県歴史の道調査報告書第九集
樹林舎 2006 「定本 島根県の歴史街道」
樹林舎 2006 「島根県歴史街道地図」

L.233 唐谷坂道

浜田市教育委员会 2008 「唐谷坂道」

その他

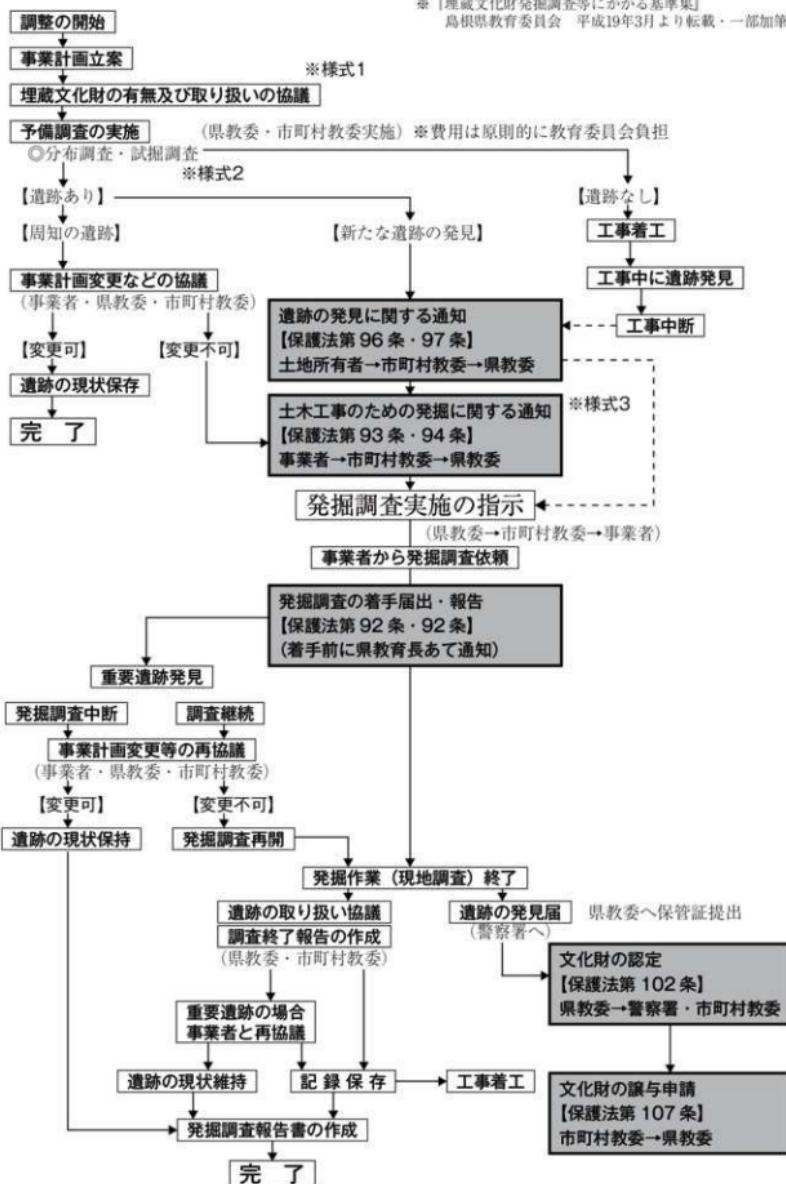
森山一止 2003 「史料から見た「ヒナシ」について」「たたら研究」第43号 たたら研究会

浜田市教育委员会 2005 「浜田市立原井小学校校舎建物調査報告書」

第3章 埋蔵文化財の事務手続きフロー

開発事業に伴う埋蔵文化財の取り扱い

※「埋蔵文化財発掘調査等にかかる基準集」
鳥根県教育委員会 平成19年3月より転載・一部加筆



第 平成 年 月 日

浜田市教育委員会教育長 様

住所

(担当者)
氏名

印

文化財等の有無及び取扱いについて（協議）

このたび下記のとおり開発工事を計画していますので、文化財等の有無及び取扱いについて協議します。

また、計画地立ち入りと予備調査（現地確認等）の協力に同意します。

1 1 開発事業名
28 -

2 開発計画場所

3 施行面積 (m²)

4 開発予定期間

5 その他（回答希望時期など）

添付書類

◎位置図(1/25,000)・計画図(工事図面、地籍図など)

浜田市教育委員会教育長 様

土地所有者
住所

氏名

印

発掘調査承諾書

浜田市が実施する埋蔵文化財調査について、下記のとおり承諾します。

記

1. 調査場所

浜田市

番地

2. 調査期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

3. その他 埋蔵文化財に関する権利を放棄し、浜田市教育委員会に一任する。

93条第1項・94条第1項（○で囲むこと）

別記

鳥取教育委員会教育長 横

第 号

朝文書番号 第 号 年 月 日

埋蔵文化財発掘の〔届出・通知〕について

通知の埋蔵文化財包括地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）（第93条第1項・第94条第1項）第184条第1項及び文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第5条の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり〔届出・通知〕します。

記

| 指 导 事 項 | 吳服園庭 工事立会 他施工事 その他 () |
|------------------------------|---|
| 1. 所 在 地 | id |
| 2. 画 像 | |
| 3. 土地所有者 | 氏名等 () |
| 4. 署名の種類 | 散布地、裏落房、貝塚、官断跡、城郭跡、社寺跡、古墳 横穴墓、その他の墓、生痕跡、その他の遺跡 () |
| 5. 遺跡の名称 | (県道番号) () |
| 6. 遺跡の現状 | 宅地、水田、梗地、山林、道路、墓地、郊野、その他 () |
| 7. 遺跡の時代 | 旧石器時代、新石器時代、奈良、平安、中世、近世、その他 () |
| 8. 工事の目的 | 道路、敷地、空港、河川、港湾、ダム、学校建設、集合住宅、個人住宅、工場、店舗、個人住宅、施工場又は高層、その他建物 () |
| 9. 実施組織 | 上院建設、公團建設、ブルーム、關光開發、ガス、電気、水道、農業整備事業、港湾等を含む) |
| 10. 其他の興味關係事業、土地保有、その他関係 () | |

1. 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
2. 土木工事等をしようとする土地の面積
3. 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
4. 土木工事等をしようとする土地に障る道路の種類、員数及び名称並びに現状
5. 当該土木工事等の目的、計画及び法の概要
6. 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の担当者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
7. 当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
8. 当該土木工事等の着手の予定期間
9. 当該土木工事等の終了の予定期間
10. その他の参考となるべき事項

- 【添付書類】
 土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の要領を示す書類及び図面
- 【注意事項】 ①大欄内は届出・通知者が記入。②指導事項欄は教育委員会で記入。
 ③遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は（ ）内に記入。

第4章 仕切遺跡の確認調査

第1節 調査の概要（第1図）

仕切遺跡は浜田市下府町の下府川右岸の丘陵裾に位置する。北側の山には市指定史跡 片山古墳、川をはさんだ対岸には古市遺跡、西側には下府庵寺跡が存在する。以前より畠で土器が採取されていたが、その後の造成工事により地形は大きく変わっている。平成12年度に確認調査が行われ、古代から中世の遺物・建物跡や溝跡が確認されていた（浜田市教育委員会2002）。調査は平成19年11月27日～12月26日に実施し、南側にある市道に併行して調査区を11設定した。調査区番号は平成12年度より続けており、今回の調査区合計面積は66.5m²である。なお、検出した溝・柱穴などは確認のため2～3cm掘下げたのみである。

T 42（第2図・1m×5m・5m²・現地表高9.296～9.262m）

現地表下約10～60.25cmで土師器細片を多く含む黒褐色土を確認した。造成土・ビニールを含む搅乱土は南側（川側）に厚く堆積しており、以前は川側へ傾斜していたことがわかる。現地表下約30～70cmで黒色土と土師器細片が混じる暗赤褐色土面があり、土師器を含む柱穴跡や火を炊いた土坑が検出された。この面は盛土と考えられ、断割りの状況では約15cm程盛土があるようである。検出した遺構は大半が直径20～40cm程の柱穴跡だが、焼土と炭が縁に残り、明らかに火を焚いた土坑が2ヶ所あった。

出土遺物（第2図・1）

主に中世土師器の細片が、第3層を中心に出土している。(1)はT 42の柱穴3の上層から出土した白磁四耳壺Ⅲ類の口縁部である。口縁を折り曲げており、白色釉がかかる。

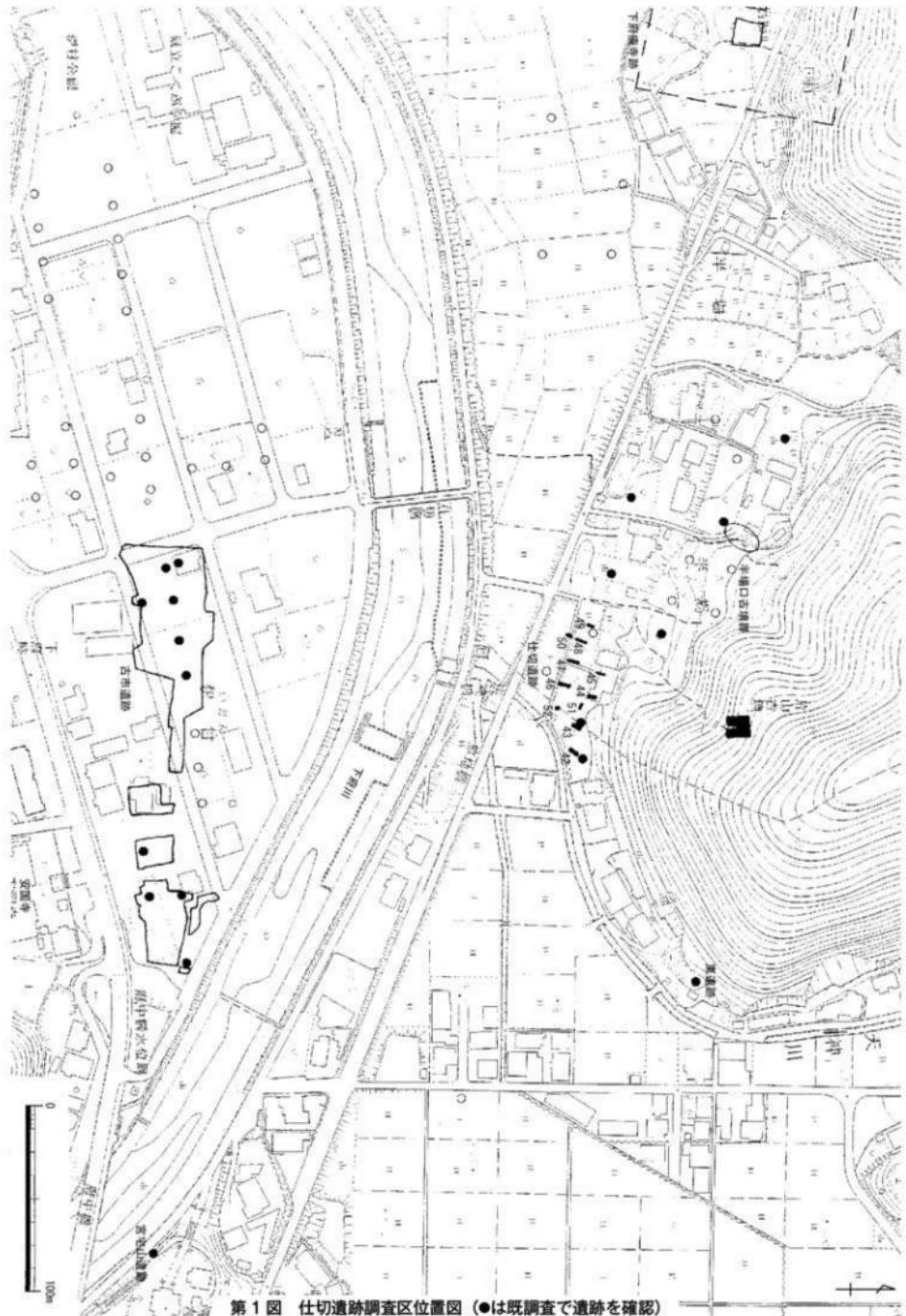
T 43（第2図・2m×5m・10m²・現地表高9.3m）

現地表下約20～35cmで土師器細片を多く含む暗褐色土を確認した。現地表下約0.7～1.15mで淡灰褐色土面（第5層）があり、柱穴跡が検出された。この面は川側へ傾斜しており、上層の黒褐色土からは弥生土器や古墳時代の土師器・中世土師器などが見つかるが細片が多い。

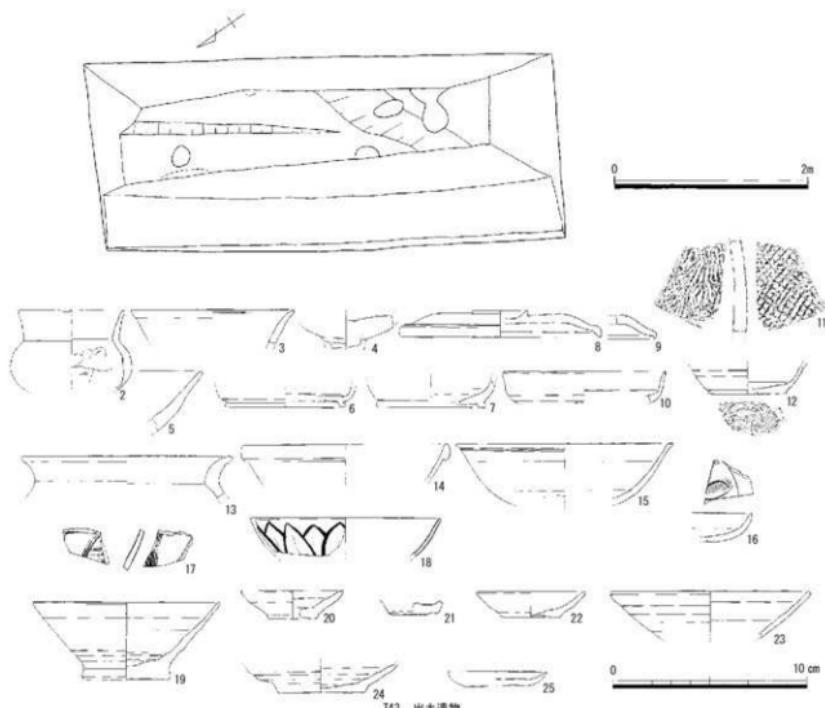
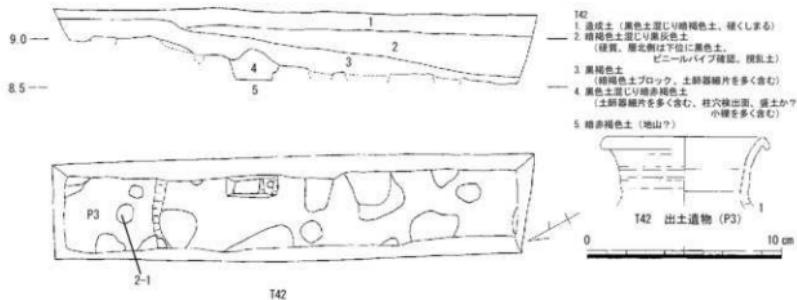
出土遺物（第2図・2～25）

弥生時代～中世まで幅広い時代の遺物が、第3・4層を中心に混在して出土している。(2)～(5)は古墳時代の土師器で暗赤褐色から暗灰褐色を呈する。小型壺(2・3)と高杯(4・5)がある。(6)～(12)は須恵器で淡灰色から暗灰色を呈する。高台のつく杯(6・7)、蓋(8・9)、甕片(11)、底部が回転糸切りの杯(12)がある。(13)は土師器甕の口縁部である。(14～18)は中世前期の貿易陶器である（大宰府市教育委員会2000）。(14)が玉縁口縁の白磁碗Ⅳ類、(15)が口縁端部を屈折する白磁碗V-4類、(16)が白磁皿V-1c類である。(17)は同安窯系青磁碗の体部で内外面に櫛描文が残る。(18)は外面に浅い中心の稜をなす鎧蓮弁文がある龍泉窯系青磁碗II-B類である。

(19)～(25)は中世土師器である。(19)は杯で底径6.9cm・口径15.5cm・器高6.4cmである。暗赤褐色粒を多く含み暗灰褐色を呈する。底部の厚さは1.1cmと厚く、体部が直線的に開き器高が高い。(20)は皿で底径4.1cm・口径8.4cm・器高2.4cmである。白色粒と暗赤褐色粒を多く含み暗灰褐色を呈する。底部の厚さは1cmである。(21)も同様だが体部がややきつ立ち上がる。(22)の皿は底径4.9cm・口径8.8cm・器高2.1cmである。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。底部は薄い。(24)は杯底部で底径7cmである。白色粒と淡赤褐色粒を多く含み赤みを帯びた淡黄褐色を呈する。底部は薄く体部にはロクロナデが施される。(25)の皿は底径5.2cm・口径8.1cm・器高1.25cmである。



第1図 仕切遺跡調査区位置図 (●は既調査で遺跡を確認)



第2図 T42・T43実測図

底径が大きく体部が短いため器高が低い。

T 44 (2m × 5m · 10m · 現地表高 9.3m)

現地表下約 10 ~ 20cmで礫を含む浅黄色土面が確認できたが遺構は検出されなかった。川側には桶を埋めた遺構が見つかり、井戸跡の可能性がある。桶は上から大石を置いて塞いでいたため大きく歪んでいるが、直径 30 ~ 80cmで縦板を竹紐で外から輪状に継じていた。掘形は桶より 30 ~ 80cm程大きく、暗灰色粘質土で埋めていた。桶の周辺と掘形から近世陶磁器が見つかった。井戸は造成前に倉があった位置にあたり、古い井戸を埋めた上に倉を建てたと考えられる。

T 45 (1m × 5m · 5m · 現地表高 9.3m)

現地表下約 20 ~ 25cmで礫を含む浅黄色土面があり、柱穴跡を 5 確認した。柱穴跡から中世土師器が見つかった。

T 46 (第 3 図 · 1.5m × 5m · 7.5m · 現地表高 8.9 ~ 9.1m)

現地表下約 0.5 ~ 1mで礫を含む暗褐色土があり、遺物が出土する。特に小礫が多い 6 層下位に多く認められた。

出土遺物 (第 3 図 · 26 ~ 32)

弥生時代~中世まで幅広い時代の遺物が、6 層を中心に出土している。(26・27) は須恵器である。(27) は杯で底径 8.85cm · 口径 11.1cm · 器高 5.2cm である。(28・29) は土師器の甕で全体が被熱しており表面の剥離がめだつ。(30) はやや高い高台がつく土師器杯で底径は 8cm である。灰白色を呈する。(31) は口縁端部を屈折する白磁碗 V - 4 類である。(32) は肥前系の陶胎糞付椀で外面に一部青色の模様が残る。

T 47 (第 3 図 · 1m × 5m · 現地表高 9m)

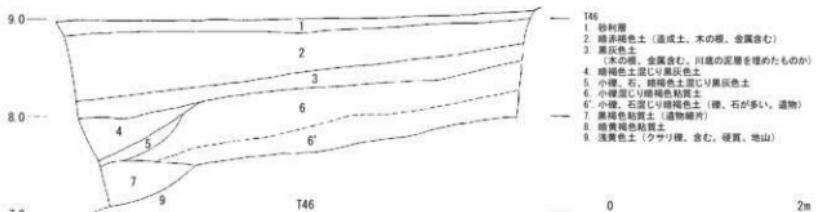
現地表下約 40 ~ 85cmで土師器細片を多く含む黒灰色土を確認した。現地表下約 0.8 ~ 1.1m で浅黄色土面があり、土坑・溝・柱穴跡が検出された。溝からは中世土師器片が多く見つかった。土器は第 5 層中でも、調査区北西壁の黒灰色土下位から土器集中部上のまとまり (第 3 図 · 33 ~ 37) と下のまとまり (第 3 図 · 38 ~ 40) に分かれる。

出土遺物 (第 3 図 · 33 ~ 42)

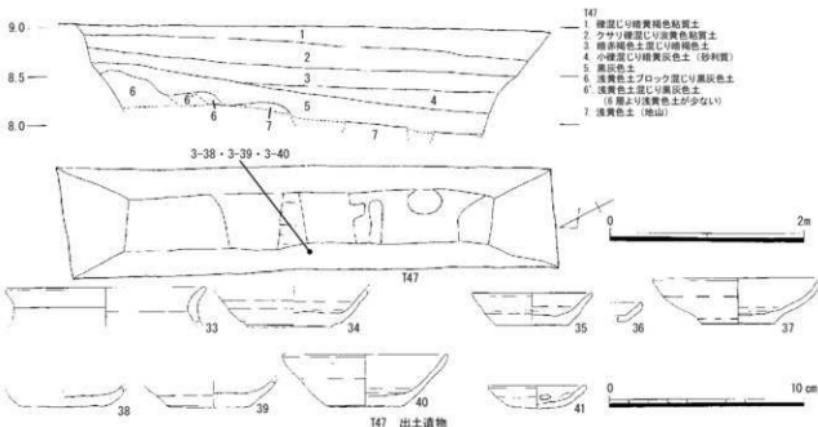
中世土師器を中心に主に第 5 層から出土している。(33) は土師器甕の口縁部である。(34) ~ (41) は中世土師器である。(34) は杯底部で淡黄褐色を呈する。底径は 6.8cm である。(35) は皿で底径 6cm · 口径 10cm · 器高 2.65cm である。黑色粒と暗赤褐色粒を多く含み淡灰褐色を呈する。やや厚手である。(36) は皿の破片で口縁端部を上方向へつまみあげている。(37) の杯は底径 6.1cm · 口径 13.8cm · 器高 3.8cm である。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。底径がやや小さく体部はやや丸みをもつ。(38) の杯底径は 7.3cm · (39) は 6.9cm である。(40) の杯は底径 6.4cm · 口径 13.5cm · 器高 4.3cm である。暗赤褐色粒を多く含み淡黄褐色を呈する。(41) は肥前系陶器の小皿で全体が歪んでいる。底径 4.0cm · 口径 8.2cm · 器高 1.9cm である。陶器質の胎土でガラス質の暗緑色釉がかかる。底部は回転糸切りで内面に目跡が 2 ヶ所以上残る。

T 48 (1.5m × 6m · 9m · 現地表高 9m)

現地表下約 40 ~ 80cm で旧地表面と見られる黒灰色土を確認した。現地表下約 60 ~ 90cm で浅黄色土面があり、土坑・溝・柱穴跡が検出されたが黒色土が混じるため盛土の可能性もある。穴の埋土は黒色と暗褐色のものがあり、黒色の穴を中心に中世土師器が出土した。遺物は細片が多い。



T46 出土遺物



第3図 T46・T47 実測図

| 弥生土器 | 古墳～古 代土器 | 須恵器 (蓋杯) | 須恵器 (甕・壺類) | 中世土 器 | 中世須 恵器 忠器 | 白磁 | 青磁 | 陶器 (中国) | 瓦質土器 | 近世～現代 | | | | その他 | 合 計 | |
|------|-------------|-------------|---------------|----------|-----------------|----|----|------------|------|-----------|-----------|------------|----|-----|--------|------|
| | | | | | | | | | | 肥前系 陶器 | 石見燒 陶器 | その他の 陶器 | | | | |
| T42 | 2 | 0 | 6 | 3 | 1366 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 | 13 | 1399 |
| T43 | 109 | 141 | 54 | 23 | 740 | 0 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 | 5 | 5 | 1101 |
| T44 | 1 | 0 | 0 | 1 | 39 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 3 | 7 | 5 | 11 | 1 | 74 |
| T45 | 0 | 0 | 0 | 1 | 113 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| T46 | 54 | 60 | 24 | 6 | 269 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 | 3 | 9 | 17 | 450 |
| T47 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1153 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 9 | 1174 |
| T48 | 2 | 3 | 6 | 3 | 284 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 300 |
| T49 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 15 |
| T50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| T51 | 2 | 0 | 0 | 0 | 38 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 47 |
| T52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 合計 | 174 | 204 | 91 | 38 | 4048 | 1 | 6 | 12 | 1 | 5 | 7 | 20 | 27 | 36 | 46 | 4716 |

表 1 遗物破片点数表

T 49 (3m × 1.5m・4.5m²・現地表高 9.05m)

現地表下約85cmの調査区東側に緑灰色土面があり、西側へ地表下約1.75mまで急傾斜している。傾斜面よりやや離れて10~25cm大の自然石が列状に置かれ、周辺から近世陶磁器が出土した。なお、石列と緑灰色土の上にはビニールを含む暗灰色泥層がある。平成12年頃には烟であったため、その後の造成により削平されて土が盛られた可能性がある。

T 50 (1.5m × 2m・3m²・現地表高 8.9m)

現地表下約1.6mで旧赤道のコンクリート道路を確認した。造成以前は、道より川側が約2m下がった水田で、平成12年度確認調査でも川側ではごく少量の遺物しか確認されていない。

T 51 (1.5m × 3m・4.5m²・現地表高 9.25m)

現地表下約20~50cmで礫を含む浅黄色土面があり、柱穴跡を7検出した。穴の埋土は黒色で中世土師器が出土した。遺構検出面は調査区中央に段がつき山側がやや高くなる。

T 52 (1.5m × 2m・3m²・現地表高 9.1 m)

現地表下約90cmで旧地表面と見られる黒褐色土があり、中世土師器が出土した。現地表下約1.1mで暗赤褐色土面が確認できたが遺構は確認されなかった。

第3節 総 括

調査の結果、遺構・遺物が確認された調査区（T42・T43・T45・T47・T48・T51）・遺物が多く出土する調査区（T46・T52）があり、遺跡の範囲をほぼ確定することができた。鎌倉時代頃の柱穴跡・溝跡などが確認されたが、T43・T46・T 49では川側へ落込む傾斜面が見られる。この傾斜面は平面で直線にならず、柱穴跡と川の間には自然に近い谷や湿地帯があったと考えられる。西側はT 51の谷地形（湿地？）を挟んで平成12年度調査区（T28・T29・T30）と中世の遺跡が並がっている。下府川沿いの水田（湿地帯）より一段高い場所に一部造成しながら生活していたと考えられ、遺物はコンテナ4箱分あり、主な破片数は弥生土器（3.7%）・土師器（4.3%）・須恵器（2.7%）・中世土師器（85.8%）・貿易陶磁器（0.4%）となる。中世の土師器細片が特に多く、貿易陶磁器は少ない。耕作や造成のためか、全体的に破片のものが多い。

中世土師器は対岸の古市遺跡の変遷（浜田市教育委員会1995・柳原2001）にあてはめると古市I期（第2図・19、第3図・30）、古市II期（34~38）、古市III期（39~40）にあたるが、平成12年度調査（浜田市教育委員会2002）のT 39ではさらに後出する薄手の土師器も多く出土している。貿易陶磁器は小量（0.4%）見られるが、対岸の古市遺跡（10%）に比べ非常に少ない。

浜田市東部の国府地区は古代～中世にかけて石見国の中心地にあたり、下府平野では大規模な集落跡である古市遺跡・横路遺跡が確認されている。古市遺跡は中世石見府中の一拠点と考えられるが、仕切遺跡はその拠点の対岸に位置する小規模な集落跡と考えられる。

参考文献

浜田市教育委員会1995「伊賀土地区画整理事業に伴う古市遺跡発掘調査概報」

大宰府市教育委員会2000「大宰府条坊跡XV -陶磁器分類編-」

柳原博英 2001「浜田・古市遺跡における中世前半の土器について」『松江考古』第9号 松江考古学談話会

浜田市教育委員会2002「浜田市遺跡詳細分布調査 -国府地区 I -」



調査前



T42



T43



T43 遺構検出状況



T44



T44 近世井戸



T45



T45 遺構検出状況



T46



T47



T47 遺構検出状況



T48



T48 遺構検出状況



T48 溝上側 遺物出土状況



T49



T50



T50 旧赤道



T51



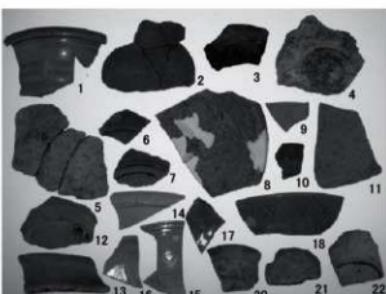
T52



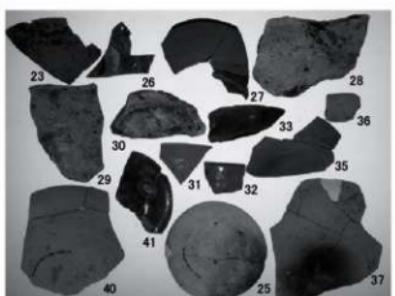
調査終了状況



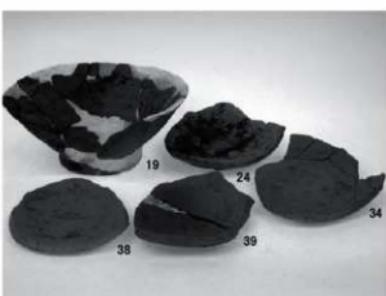
作業状況



出土遺物(1)



出土遺物(2)



出土遺物(3)

報告書抄録

| | | | | | | |
|----------------|---|----------------|------|-------------------------|--------------|----------------------------|
| ふりがな | しまねけんはまだしいせきいち (はまだじく)・しきりいせき | | | | | |
| 書名 | 島根県浜田市遺跡地図 I (浜田自治区)・仕切遺跡 | | | | | |
| 副書名 | 平成 19 年度市内遺跡発掘調査報告書 | | | | | |
| 卷次 | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | |
| 編著者名 | 柳原 博英 | | | | | |
| 編集機関 | 島根県浜田市教育委員会 | | | | | |
| 所在地 | 〒 697-8501 島根県浜田市殿町 1 番地 Tel.0855-22-2612 (行) | | | | | |
| 発行年月日 | 2009 年 3 月 | | | | | |
| ふりがな所有遺跡名 | ふりがな所在地 | コード | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 m ² |
| しきりいせき 仕切遺跡 | 島根県浜田市下府町 | 市町村 32202 | L227 | 34° 50' 40" | 132° 07' 18" | 2007.11.27 ~ 2007.12.26 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 所取遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | |
| 仕切遺跡 | 集落跡 | 弥生・古墳・古代・中世・近世 | 柱穴・溝 | 中世土師器・貿易陶磁器 須恵器・弥生土器 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 要約 | 仕切遺跡は浜田市東部の国府地区に位置し、北側に片山古墳（市史跡）、下府廐寺跡（塔心礎 国史跡）が所在する。平成 12 年度にも確認調査を実施しており、中世の集落跡が確認されていた。調査の結果、弥生時代～近世までの遺物が出土した。遺路の中心は中世前期（鎌倉時代頃）の集落跡で、柱穴・溝などが見つかった。遺跡の位置する平野一帯は中世石見舟中の範囲に含まれたと考えられている。仕切遺跡南の対岸には古市遺跡、西側には横路遺跡がある。古代から中世の集落跡が多いが、仕切遺跡は対岸の古市遺跡に比べ貿易陶磁器の量が少なく集落規模も小さいと見られる。 | | | | | |

島根県浜田市遺跡地図 I (浜田自治区)・仕切遺跡

平成 19 年度市内遺跡発掘調査報告書

発行 島根県浜田市教育委員会 2009 年 3 月

島根県浜田市殿町 1 番地

印刷 有限会社 原印刷